

参考資料	
番号	1
企画財政課	

平成 25 年度

決算概要

新潟県燕市

目 次

○一般的事項	－ － － － － － － － － － －	1
○平成25年度決算(全会計)	－ － － － － － － －	2
○平成25年度決算と平成24年度決算の比較		
1 一般会計	－ － － － － － － －	3
2 国民健康保険特別会計	－ － － － － －	5
3 後期高齢者医療特別会計	－ － － － －	6
4 介護保険事業特別会計	－ － － － －	7
5 公共下水道事業特別会計	－ － － － －	8
6 土地取得特別会計	－ － － －	9
7 企業団地造成事業特別会計	－ － － －	9
8 温泉保養センター特別会計	－ － － －	10
○普通会計	－ － － － － － －	11
○主要事業	－ － － － －	16
○主な普通建設事業	－ － － －	39

【一般的事項】

《平成 25 年度予算編成》

平成25年度の当初予算については、行政機能の一元化に伴う効果を最大限に活かし、引き続き「日本一輝いているまち」を目指して、産業の活性化、教育・子育て環境の充実をはじめとするこれまでの取り組みに更なる磨きをかけるとともに、若者や子どもたちの視点から将来を見据えて事業を展開するなど、新たな飛躍に向けてスタートを切るための予算編成となっています。

《平成 25 年度決算の総額》

[一般会計] 歳入総額では 376 億 9,596 万 1 千円、歳出総額では 364 億 3,297 万 5 千円、前年度と比較しますと歳入総額では 30 億 7,111 万 8 千円(7.5%)の減額、歳出総額でも 31 億 8,959 万 6 千円(8.0%)の減額、歳入歳出差引額 12 億 6,298 万 6 千円から翌年度へ繰り越すべき財源 1 億 3,511 万 6 千円を差し引いた 11 億 2,787 万円が純繰越金となりました。

[特別会計] 国民健康保険特別会計をはじめとする7つの特別会計の平成 25 年度の決算額は、歳入で 201 億 881 万 2 千円、歳出で 195 億 4,536 万 1 千円、前年度と比較しますと歳入総額では 9 億 2,340 万 6 千円(4.8%)の増額、歳出総額でも 9 億 673 万 3 千円(4.9%)の増額で、5 億 6,345 万 1 千円が純繰越金となりました。

《平成 25 年度の一般会計決算の増減要因》

[歳入] 平成 24 年度決算比較で増額した歳入の主な項目は、国庫支出金の社会資本整備総合交付金(都市計画課)1 億 9,372 万 2 千円の増、繰入金 1 億 966 万 7 千円の増などとなっています。

また、減額した歳入の主な項目は、地方交付税 18 億 7,443 万 7 千円の減(普通交付税 1 億 2,614 万円の減、特別交付税 17 億 4,829 万 7 千円の減)、県支出金の新潟県市町村合併特別交付金 3 億 4,560 万円の減、地方債の合併特例債 17 億 50 万円の減などとなっています。

[歳出] 平成 24 年度決算比較で増額した歳出の主な項目は、西部学校給食センター改築事業 5 億 8,659 万 2 千円の増、燕・弥彦総合事務組合斎場建設事業費負担金 5 億 4,817 万 5 千円の増、(仮称)吉田統合保育園建設事業 4 億 8,915 万円の増、須頃郷排水対策事業 1 億 9,026 万 6 千円の増、燕体育センター管理運営費 1 億 6,963 万円の増などとなっています。

また、減額した歳出の主な項目は、新庁舎建設事業 32 億 8,524 万 2 千円の減、吉田小学校改築事業 12 億 6,502 万 6 千円の減、燕・弥彦総合事務組合不燃物処理場拡張事業費特別負担金 10 億 444 万 6 千円の減、中小企業融資金貸付金 7 億 4,174 万 2 千円の減などとなっています。

《平成 25 年度財政指標》

平成 25 年度の経常収支比率は 88.0%で前年度の 87.7%と比較しますと 0.3%増加しました。公債費に充てられる一般財源の額の標準財政規模に占める割合で示される公債費比率は 9.5%で前年度の 9.2%と比較しますと 0.3%増加し、一方、実質公債費比率は 12.8%で前年度の 13.5%と比較しますと 0.7%減少しています。昨年度と比較した平成 25 年度の指数については全般的に横ばいで推移していますが、今後も国の動向を注視し、適切な財政運営を維持していく必要があります。

平成25年度決算(全会計)

決算額

(単位:円)

区分	歳入	歳出	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り越 すべき財源	実質収支	
一般会計	37,695,960,756	36,432,975,019	1,262,985,737	135,116,014	1,127,869,723	
特別 会計	国民健康保険特別会計	8,318,642,232	8,157,733,599	160,908,633	0	160,908,633
	後期高齢者医療特別会計	648,670,451	630,646,451	18,024,000	0	18,024,000
	介護保険事業特別会計	7,433,471,142	7,122,355,096	311,116,046	0	311,116,046
	公共下水道事業特別会計	3,465,473,287	3,395,901,887	69,571,400	0	69,571,400
	土地取得特別会計	39,933,006	39,933,006	0	0	0
	企業団地造成事業特別会計	4,607,622	777,000	3,830,622	0	3,830,622
	温泉保養センター特別会計	198,014,420	198,014,420	0	0	0
	計	20,108,812,160	19,545,361,459	563,450,701	0	563,450,701
合計	57,804,772,916	55,978,336,478	1,826,436,438	135,116,014	1,691,320,424	

平成25年度決算と平成24年度決算の比較

1 一般会計

(1) 歳入

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平 成 25 年 度	平 成 24 年 度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 市 税	10,353,445,024	10,293,146,261	60,298,763	0.6	27.6
2 地 方 譲 与 税	347,061,003	364,046,503	△ 16,985,500	△ 4.7	0.9
3 利 子 割 交 付 金	20,453,000	25,731,000	△ 5,278,000	△ 20.5	0.1
4 配 当 割 交 付 金	31,234,000	15,332,000	15,902,000	103.7	0.1
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	48,194,000	3,735,000	44,459,000	1,190.3	0.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	863,176,000	870,597,000	△ 7,421,000	△ 0.9	2.3
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	94,769,000	99,754,000	△ 4,985,000	△ 5.0	0.3
8 地 方 特 例 交 付 金	44,745,000	44,046,000	699,000	1.6	0.1
9 地 方 交 付 税	6,532,691,000	8,407,128,000	△ 1,874,437,000	△ 22.3	17.3
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	14,181,000	14,693,000	△ 512,000	△ 3.5	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	640,648,010	627,573,609	13,074,401	2.1	1.7
12 使 用 料 及 び 手 数 料	304,852,614	248,161,462	56,691,152	22.8	0.8
13 国 庫 支 出 金	3,072,837,200	2,952,295,025	120,542,175	4.1	8.2
14 県 支 出 金	1,899,417,348	2,500,694,400	△ 601,277,052	△ 24.0	5.0
15 財 産 収 入	157,810,529	183,159,911	△ 25,349,382	△ 13.8	0.4
16 寄 附 金	12,796,680	23,392,581	△ 10,595,901	△ 45.3	0.0
17 繰 入 金	1,360,441,239	1,246,059,620	114,381,619	9.2	3.6
18 繰 越 金	1,144,508,387	1,391,995,550	△ 247,487,163	△ 17.8	3.0
19 諸 収 入	2,724,955,722	3,427,238,522	△ 702,282,800	△ 20.5	7.2
20 市 債	8,027,744,000	8,028,300,000	△ 556,000	0.0	21.3
歳 入 合 計	37,695,960,756	40,767,079,444	△ 3,071,118,688	△ 7.5	100.0

(2) 歳出

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 議 会 費	203,624,196	207,133,784	△ 3,509,588	△ 1.7	0.6
2 総 務 費	3,728,027,996	7,598,715,217	△ 3,870,687,221	△ 50.9	10.2
3 民 生 費	9,467,812,221	9,143,250,011	324,562,210	3.5	26.0
4 衛 生 費	3,537,487,643	4,707,054,082	△ 1,169,566,439	△ 24.8	9.7
5 労 働 費	38,372,959	40,594,399	△ 2,221,440	△ 5.5	0.1
6 農 林 水 産 業 費	829,492,722	832,522,316	△ 3,029,594	△ 0.4	2.3
7 商 工 費	3,009,421,886	3,724,383,933	△ 714,962,047	△ 19.2	8.3
8 土 木 費	3,799,598,498	3,517,413,538	282,184,960	8.0	10.4
9 消 防 費	1,620,182,866	1,436,604,091	183,578,775	12.8	4.4
10 教 育 費	4,149,853,829	5,204,765,980	△ 1,054,912,151	△ 20.3	11.4
11 災 害 復 旧 費	3,075,240	28,909,624	△ 25,834,384	△ 89.4	0.0
12 公 債 費	6,004,439,526	3,075,079,715	2,929,359,811	95.3	16.5
13 諸 支 出 金	41,585,437	106,144,367	△ 64,558,930	△ 60.8	0.1
14 予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
歳 出 合 計	36,432,975,019	39,622,571,057	△ 3,189,596,038	△ 8.0	100.0

2 国民健康保険特別会計

(1) 歳入

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 国民健康保険税	1,878,658,091	1,683,383,186	195,274,905	11.6	22.6
2 使用料及び手数料	1,015,283	1,024,100	△ 8,817	△ 0.9	0.0
3 国庫支出金	1,815,804,503	1,783,242,709	32,561,794	1.8	21.8
4 療養給付費等交付金	524,634,257	620,846,606	△ 96,212,349	△ 15.5	6.3
5 前期高齢者交付金	2,182,868,207	2,351,216,991	△ 168,348,784	△ 7.2	26.2
6 県支出金	405,212,787	400,075,424	5,137,363	1.3	4.9
7 共同事業交付金	853,963,712	895,430,989	△ 41,467,277	△ 4.6	10.3
8 財産収入	5,586	6,000	△ 414	△ 6.9	0.0
9 繰入金	454,810,819	417,726,985	37,083,834	8.9	5.5
10 繰越金	165,965,414	235,740,641	△ 69,775,227	△ 29.6	2.0
11 諸収入	35,703,573	17,286,733	18,416,840	106.5	0.4
歳入合計	8,318,642,232	8,405,980,364	△ 87,338,132	△ 1.0	100.0

(2) 歳出

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 総務費	102,056,114	95,216,126	6,839,988	7.2	1.2
2 保険給付費	5,421,371,679	5,469,538,416	△ 48,166,737	△ 0.9	66.5
3 後期高齢者支援金等	1,058,433,478	1,062,659,071	△ 4,225,593	△ 0.4	13.0
4 前期高齢者納付金等	1,047,581	1,117,987	△ 70,406	△ 6.3	0.0
5 介護納付金	479,134,438	474,845,137	4,289,301	0.9	5.9
6 共同事業拠出金	919,996,157	953,422,682	△ 33,426,525	△ 3.5	11.3
7 保健事業費	109,117,441	106,462,241	2,655,200	2.5	1.3
8 基金積立金	5,586	6,000	△ 414	△ 6.9	0.0
9 諸支出金	66,571,125	76,747,290	△ 10,176,165	△ 13.3	0.8
10 予備費	0	0	0	0.0	0.0
歳出合計	8,157,733,599	8,240,014,950	△ 82,281,351	△ 1.0	100.0

3 後期高齢者医療特別会計

(1) 歳入

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 後期高齢者医療保険料	479,099,250	465,746,414	13,352,836	2.9	73.9
2 使用料及び手数料	113,000	119,000	△ 6,000	△ 5.0	0.0
3 繰 入 金	149,790,261	147,384,526	2,405,735	1.6	23.1
4 繰 越 金	19,135,500	16,752,700	2,382,800	14.2	2.9
5 諸 収 入	532,440	474,478	57,962	12.2	0.1
歳入合計	648,670,451	630,477,118	18,193,333	2.9	100.0

(2) 歳出

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 総 務 費	4,981,121	5,306,202	△ 325,081	△ 6.1	0.8
2 後期高齢者医療広域連合納付金	625,263,616	605,682,916	19,580,700	3.2	99.1
3 諸 支 出 金	401,714	352,500	49,214	14.0	0.1
4 予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
歳出合計	630,646,451	611,341,618	19,304,833	3.2	100.0

4 介護保険事業特別会計

(1) 歳入

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 保 険 料	1,553,206,892	1,505,467,290	47,739,602	3.2	20.9
2 分担金及び負担金	1,886,000	1,993,000	△ 107,000	△ 5.4	0.0
3 使用料及び手数料	233,200	262,000	△ 28,800	△ 11.0	0.0
4 国庫支出金	1,592,384,262	1,497,638,604	94,745,658	6.3	21.4
5 支払基金交付金	1,975,099,000	1,877,162,013	97,936,987	5.2	26.6
6 県支出金	1,022,859,661	982,776,806	40,082,855	4.1	13.8
7 財産収入	0	0	0	0.0	0.0
8 繰入金	1,026,047,762	972,521,000	53,526,762	5.5	13.8
9 繰越金	261,218,665	136,409,649	124,809,016	91.5	3.5
10 諸収入	535,700	7,306,399	△ 6,770,699	△ 92.7	0.0
歳入合計	7,433,471,142	6,981,536,761	451,934,381	6.5	100.0

(2) 歳出

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 総 務 費	150,698,955	145,307,282	5,391,673	3.7	2.1
2 保険給付費	6,803,850,341	6,423,565,450	380,284,891	5.9	95.5
3 財政安定化基金拠出金	0	0	0	0.0	0.0
4 地域支援事業費	145,581,289	142,405,669	3,175,620	2.2	2.1
5 基金積立金	0	0	0	0.0	0.0
6 諸支出金	22,224,511	9,039,695	13,184,816	145.9	0.3
7 予備費	0	0	0	0.0	0.0
歳出合計	7,122,355,096	6,720,318,096	402,037,000	6.0	100.0

5 公共下水道事業特別会計

(1) 歳入

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 分担金及び負担金	93,326,900	97,739,900	△ 4,413,000	△ 4.5	2.7
2 使用料及び手数料	288,858,974	281,034,534	7,824,440	2.8	8.3
3 国庫支出金	675,771,000	475,510,000	200,261,000	42.1	19.5
4 繰入金	1,393,234,000	1,351,408,000	41,826,000	3.1	40.2
5 繰越金	90,747,557	86,251,576	4,495,981	5.2	2.6
6 諸収入	15,534,856	18,009,464	△ 2,474,608	△ 13.7	0.5
7 市債	908,000,000	724,100,000	183,900,000	25.4	26.2
歳入合計	3,465,473,287	3,034,053,474	431,419,813	14.2	100.0

(2) 歳出

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 総務費	78,985,658	78,207,505	778,153	1.0	2.3
2 下水道事業費	1,741,216,195	1,302,777,049	438,439,146	33.7	51.3
3 下水道管理費	234,797,694	229,050,576	5,747,118	2.5	6.9
4 流域下水道事業費	6,605,350	46,486,556	△ 39,881,206	△ 85.8	0.2
5 公債費	1,334,296,990	1,286,784,231	47,512,759	3.7	39.3
6 予備費	0	0	0	0.0	0.0
歳出合計	3,395,901,887	2,943,305,917	452,595,970	15.4	100.0

6 土地取得特別会計

(1) 歳入

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 財 産 収 入	20,910,695	22,676,344	△ 1,765,649	△ 7.8	52.4
2 繰 入 金	19,022,311	21,743,721	△ 2,721,410	△ 12.5	47.6
3 諸 収 入	0	0	0	0.0	0.0
歳入合計	39,933,006	44,420,065	△ 4,487,059	△ 10.1	100.0

(2) 歳出

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 公共用地造成事業費	19,022,311	21,743,721	△ 2,721,410	△ 12.5	47.6
2 繰 出 金	20,910,695	22,676,344	△ 1,765,649	△ 7.8	52.4
3 予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
歳出合計	39,933,006	44,420,065	△ 4,487,059	△ 10.1	100.0

7 企業団地造成事業特別会計

(1) 歳入

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 繰 越 金	4,607,622	5,441,637	△ 834,015	△ 15.3	100.0
歳入合計	4,607,622	5,441,637	△ 834,015	△ 15.3	100.0

(2) 歳出

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 事 業 費	777,000	834,015	△ 57,015	△ 6.8	100.0
歳出合計	777,000	834,015	△ 57,015	△ 6.8	100.0

8 温泉保養センター特別会計

(1) 歳入

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 使用料及び手数料	49,668,450	50,696,400	△ 1,027,950	△ 2.0	25.1
2 繰 入 金	18,037,315	14,600,000	3,437,315	23.5	9.1
3 繰 越 金	5,103,138	14,071,060	△ 8,967,922	△ 63.7	2.6
4 諸 収 入	4,037,517	4,128,890	△ 91,373	△ 2.2	2.0
5 市 債	121,168,000	0	121,168,000	皆増	61.2
歳入合計	198,014,420	83,496,350	114,518,070	137.2	100.0

(2) 歳出

(単位:円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 温泉保養センター費	62,640,472	64,081,249	△ 1,440,777	△ 2.2	31.6
2 公 債 費	135,373,948	14,311,963	121,061,985	845.9	68.4
3 予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
歳出合計	198,014,420	78,393,212	119,621,208	152.6	100.0

普通会計

決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	平成 25 年 度	平成 24 年 度
歳 入 総 額 A	35,056,695	40,844,989
歳 出 総 額 B	33,793,709	39,695,378
形 式 収 支 (A - B) C	1,262,986	1,149,611
翌年度に繰越すべき財源 D	135,116	142,392
実 質 収 支 (C - D) E	1,127,870	1,007,219
単 年 度 収 支 F	120,651	△ 172,999
積 立 金 G	1,386,568	1,702,006
繰 上 償 還 金 H	11,297	0
積 立 金 取 崩 し 額 I	995,007	899,155
実質単年度収支(F+G+H-I) J	523,509	629,852

(決算統計数値)

財政指標

(単位:千円・%)

項 目	平成 25 年 度	平成 24 年 度	
基 準 財 政 収 入 額	9,067,108	8,737,198	
基 準 財 政 需 要 額	13,100,215	12,940,165	
標 準 税 収 入 額 等	11,727,110	11,271,968	
標 準 財 政 規 模	18,933,015	18,554,013	
うち臨時財政対策債発行可能額	1,761,219	1,711,219	
実 質 収 支 比 率	6.0	5.4	
経 常 収 支 比 率	88.0	87.7	
※ 臨時財政対策債を含まない	96.9	96.4	
経 常 一 般 財 源 比 率	91.5	93.6	
公 債 費 比 率	9.5	9.2	
公 債 費 負 担 比 率	14.4	12.5	
起債制限比率	3 カ 年 平 均	8.1	8.0
	単 年 度	8.4	8.0
財 政 力 指 数	3 カ 年 平 均	0.682	0.679
	単 年 度	0.692	0.675

※主な指標の説明は、50ページに掲載しています

歳入

(単位:千円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 市 税	10,353,445	10,293,146	60,299	0.6	29.5
2 地 方 譲 与 税	347,061	364,047	△ 16,986	△ 4.7	1.0
3 利 子 割 交 付 金	20,453	25,731	△ 5,278	△ 20.5	0.1
4 配 当 割 交 付 金	31,234	15,332	15,902	103.7	0.1
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	48,194	3,735	44,459	1,190.3	0.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	863,176	870,597	△ 7,421	△ 0.9	2.5
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	94,769	99,754	△ 4,985	△ 5.0	0.3
8 地 方 特 例 交 付 金	44,745	44,046	699	1.6	0.1
9 地 方 交 付 税	6,532,691	8,407,128	△ 1,874,437	△ 22.3	18.6
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	14,181	14,693	△ 512	△ 3.5	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	225,584	173,532	52,052	30.0	0.7
12 使 用 料 及 び 手 数 料	770,864	753,578	17,286	2.3	2.2
13 国 庫 支 出 金	3,105,796	2,961,381	144,415	4.9	8.9
14 県 支 出 金	1,859,403	2,461,735	△ 602,332	△ 24.5	5.3
15 財 産 収 入	178,695	205,775	△ 27,080	△ 13.2	0.5
16 寄 附 金	12,797	23,393	△ 10,596	△ 45.3	0.0
17 繰 入 金	1,360,468	1,246,120	114,348	9.2	3.9
18 繰 越 金	1,149,611	1,406,714	△ 257,103	△ 18.3	3.3
19 諸 収 入	2,676,628	3,402,252	△ 725,624	△ 21.3	7.6
20 市 債	5,366,900	8,072,300	△ 2,705,400	△ 33.5	15.3
歳 入 合 計	35,056,695	40,844,989	△ 5,788,294	△ 14.2	100.0

(決算統計数値)

○財源構造

(単位:千円)

区 分		決 算 額				
		平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
自 主 財 源	市 税	10,353,445	10,293,146	60,299	0.6	29.5
	分担金及び負担金	225,584	173,532	52,052	30.0	0.7
	使用料及び手数料	770,864	753,578	17,286	2.3	2.2
	財 産 収 入	178,695	205,775	△ 27,080	△ 13.2	0.5
	寄 附 金	12,797	23,393	△ 10,596	△ 45.3	0.0
	繰 入 金	1,360,468	1,246,120	114,348	9.2	3.9
	繰 越 金	1,149,611	1,406,714	△ 257,103	△ 18.3	3.3
	諸 収 入	2,676,628	3,402,252	△ 725,624	△ 21.3	7.6
	計	16,728,092	17,504,510	△ 776,418	△ 4.4	47.7
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	347,061	364,047	△ 16,986	△ 4.7	1.0
	利 子 割 交 付 金	20,453	25,731	△ 5,278	△ 20.5	0.1
	配 当 割 交 付 金	31,234	15,332	15,902	103.7	0.1
	株式等譲渡所得割交付金	48,194	3,735	44,459	1,190.3	0.1
	地方消費税交付金	863,176	870,597	△ 7,421	△ 0.9	2.5
	自動車取得税交付金	94,769	99,754	△ 4,985	△ 5.0	0.3
	地方特例交付金	44,745	44,046	699	1.6	0.1
	地 方 交 付 税	6,532,691	8,407,128	△ 1,874,437	△ 22.3	18.6
	交通安全対策特別交付金	14,181	14,693	△ 512	△ 3.5	0.0
	国 庫 支 出 金	3,105,796	2,961,381	144,415	4.9	8.9
	県 支 出 金	1,859,403	2,461,735	△ 602,332	△ 24.5	5.3
	市 債	5,366,900	8,072,300	△ 2,705,400	△ 33.5	15.3
計	18,328,603	23,340,479	△ 5,011,876	△ 21.5	52.3	
合 計		35,056,695	40,844,989	△ 5,788,294	△ 14.2	100.0

(決算統計数値)

歳出

○目的別

(単位:千円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
1 議 会 費	198,751	202,488	△ 3,737	△ 1.8	0.6
2 総 務 費	3,957,282	7,809,393	△ 3,852,111	△ 49.3	11.7
3 民 生 費	10,212,334	9,906,050	306,284	3.1	30.2
4 衛 生 費	2,634,632	3,847,326	△ 1,212,694	△ 31.5	7.8
5 労 働 費	60,477	63,359	△ 2,882	△ 4.5	0.2
6 農 林 水 産 業 費	810,856	813,480	△ 2,624	△ 0.3	2.4
7 商 工 費	2,919,419	3,635,911	△ 716,492	△ 19.7	8.6
8 土 木 費	3,910,531	3,630,175	280,356	7.7	11.6
9 消 防 費	1,616,514	1,434,456	182,058	12.7	4.8
10 教 育 費	4,115,111	5,189,272	△ 1,074,161	△ 20.7	12.2
11 災 害 復 旧 費	0	30,076	△ 30,076	皆減	0.0
12 公 債 費	3,357,802	3,133,392	224,410	7.2	9.9
13 諸 支 出 金	0	0	0	0.0	0.0
14 予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
歳 出 合 計	33,793,709	39,695,378	△ 5,901,669	△ 14.9	100.0

(決算統計数値)

○性質別

(単位:千円)

区 分	決 算 額				
	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減 額	増減率%	構成比%
義 務 的 経 費	12,708,968	12,335,081	373,887	3.0	37.6
人 件 費	4,449,650	4,530,772	△ 81,122	△ 1.8	13.2
扶 助 費	4,901,516	4,670,917	230,599	4.9	14.5
公 債 費	3,357,802	3,133,392	224,410	7.2	9.9
投 資 的 経 費	5,452,701	9,505,436	△ 4,052,735	△ 42.6	16.1
普 通 建 設 事 業 費	5,452,701	9,475,360	△ 4,022,659	△ 42.5	16.1
補 助 事 業 費	1,816,023	3,066,789	△ 1,250,766	△ 40.8	5.4
単 独 事 業 費	3,636,678	6,408,571	△ 2,771,893	△ 43.3	10.7
災 害 復 旧 費	0	30,076	△ 30,076	皆減	0.0
そ の 他 経 費	15,632,040	17,854,861	△ 2,222,821	△ 12.4	46.3
物 件 費	3,897,133	3,907,832	△ 10,699	△ 0.3	11.5
維 持 補 修 費	300,305	294,549	5,756	2.0	0.9
補 助 費 等	3,748,254	4,832,740	△ 1,084,486	△ 22.4	11.1
積 立 金	1,550,198	2,113,708	△ 563,510	△ 26.7	4.6
投資及び出資金・貸付金	2,422,286	3,154,904	△ 732,618	△ 23.2	7.2
繰 出 金	3,713,864	3,551,128	162,736	4.6	11.0
合 計	33,793,709	39,695,378	△ 5,901,669	△ 14.9	100.0

(決算統計数値)

基金の年度末残高

○積立基金

(単位:千円)

基 金	前年度末現在高	決 算 年 度 中		決算年度末現在高
		積 立 額	取 崩 額	
財 政 調 整 基 金	3,613,827	1,386,568	995,007	4,005,388
減 債 基 金	308,320	80,867	0	389,187
社会福祉事業基金	9,571	603	0	10,174
環境整備基金	0	3,250	0	3,250
産業振興事業基金	13,949	1,833	5,355	10,427
奨 学 基 金	60,727	70,634	41,760	89,601
仲 治 特 別 奨 学 基 金	52,874	3,109	10,080	45,903
義務教育施設整備事業基金	1,614	0	0	1,614
子 ども 夢 基 金	47,411	3,004	4,313	46,102
美術品取得基金	10,767	3	0	10,770
ガス事業譲渡清算金活用基金	1,341,459	327	303,926	1,037,860
合 計	5,460,519	1,550,198	1,360,441	5,650,276

○定額運用基金

(単位:千円)

基 金	前年度末現在高	決 算 年 度 中		決算年度末現在高
		積 立 額	取 崩 額	
土 地 開 発 基 金	649,928	20,910	19,022	651,816
一般旅券印紙等購買基金	2,000	0	0	2,000
合 計	651,928	20,910	19,022	653,816

(決算統計数値)

地方債の年度末現在高

(単位:千円)

前年度末現在高	決 算 年 度 中			決算年度末現在高
	発 行 額	元 利 償 還 額		
		元 金 C	利 子	
A	B			A+B-C
42,237,855	5,366,900	2,955,478	402,324	44,649,277

(決算統計数値)

債務負担行為翌年度以降支出予定額(一般財源等)

(単位:千円)

平成25年度	平成24年度
1,974,775	2,051,128

(決算統計数値)

平成25年度 主要事業

総務部 総務課・選挙管理委員会事務局

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
総務費	56	人事厚生研修費	36,418	33,960	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質・能力等の向上を図り、市行政の円滑な運営に資することを目的に県自治会館(45名)、県自治研修所(69名)、市町村アカデミー(2名)、自治大学校(2名)及び民間企業研修(8名)への職員の派遣や、講師を招いての研修会を実施しました。(4,188千円) ・人材育成として、将来の燕市役所を担う職員を育成するため、「市役所長善館」(17名)を実施しました。(40千円) ・新たに、職員の「自己啓発意欲の高揚」と「専門能力の向上」を図るため、職員自己啓発支援事業を実施しました。(27千円) ・職員のメンタルヘルス対策として、メンタル不調者の早期発見と適切な対処が行えるよう、臨床心理カウンセラーによるカウンセリングを実施しました。(376千円) ・各種証明発行等の窓口業務や、フロアマネージャー業務について人材派遣等のアウトソーシングを行いました。(10,220千円) ・その他(臨時職員賃金等 18,263千円、職員健康管理委託料 2,592千円、他 712千円)
	68	情報システム管理費	226,837	241,315	情報システムの安定的かつ効率的な運用管理を行いました。通信回線使用料を削減するため、出先施設の電話回線と通信回線を統合する工事(10施設)を実施しました。
	76	選挙啓発費	344	237	新成人へ選挙啓発冊子758通を送付しました。また、市内小・中・高等学校から選挙啓発ポスターの応募が85点あり、燕市での審査の結果、特選7点、入選10点を選びました。特選7点は県審査へ送り、佳作に3点選ばれました。
	76	土地改良区総代選挙費	262	81	任期満了による熊森土地改良区総代選挙を8月8日に執行しました。定数を超えなかったため無投票となりました。
	76	参議院議員通常選挙費	24,734	—	任期満了による参議院議員通常選挙を7月21日に執行しました。投票率は56.05%でした。
	76	燕市長選挙・燕市議会議員補欠選挙費	3,782	—	任期満了による燕市長選挙及び欠員による燕市議会議員補欠選挙(平成26年4月13日執行)の準備をしました。

総務部 防災課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
民生費	108	災害救助費	286	2,185	避難所に関わったボランティアを中心に南相馬市へ訪問し、燕市から帰郷した人たちと交流を深めました。
	108	被災者支援雇用事業	2,765	5,596	燕市で生活している被災者に対して、被災者を1名雇用し、情報提供や交流事業の実施、訪問相談などの生活支援を行いました。
消防費	168	常備消防事業	1,279,216	1,224,080	燕・弥彦総合事務組合の消防体制の拠点である消防本部及び燕・分水各地区消防署の管理運営と消防警防活動・予防活動の実施に伴う費用を負担しました。
	168	非常備消防事業	104,637	103,157	燕・弥彦総合事務組合における各地区消防団の活動費や、機材装備の充実を図るための費用を負担しました。
	168	消防施設維持管理事業	14,653	10,856	地区消防署等の修繕や消火栓の新設・修繕工事など、消防施設の維持管理に係る修繕・整備を行いました。
	170	分水消防署改築事業	125,716	61,887	旧分水庁舎を解体し、新分水消防署の建設工事のうち、1階床コンクリート部分までの工事を行いました。また、同工事に伴う監理業務の委託を行いました。

(次ページへ続く)

総務部 防災課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主 要 事 業 名	決 算 額	H24決算額	事 業 の 概 要
消防費	170	災害対策事業	14,529	10,498	防災訓練、防災リーダー養成講座、地域防災組織育成補助事業、防災つばめ〜ル配信など防災・減災のためのさまざまな事業を行いました。また、新庁舎移転に伴う震度計移設工事を行いました。
	170	防災行政無線保守管理事業	72,594	17,288	防災行政無線(同報系・移動系)の保守管理を行いました。また、新庁舎移転に伴う防災行政無線の移設工事等を行いました。
	170	緊急告知FMラジオ整備事業	840	840	緊急告知FMラジオの保守管理を行いました。
	172	緊急時FMラジオ放送利活用事業	7,998	7,998	燕三条エフエムを活用して、市民へ災害や防災に関する情報の提供を行いました。また、災害時における情報収集などを目的とした汎用FMラジオの頒布を行いました。

総務部 用地管財課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主 要 事 業 名	決 算 額	H24決算額	事 業 の 概 要
総務費	60	新庁舎建設事業	248,382	3,323,481	平成23年度からの3か年工事の最終年として、平成25年5月の移転開庁に向けて外構工事及びネットワーク工事を行い、建設工事を完了しました。また、オフィス環境整備業務で、備品の調達や移転業務を実施しました。
	60	新庁舎建設事業[通次繰越]	122,232	332,375	平成24年度に発注した新庁舎建設工事の中で、年度内に完成できなかった外構工事の一部を通次繰越により実施しました。

企画財政部 企画財政課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主 要 事 業 名	決 算 額	H24決算額	事 業 の 概 要
総務費	62	旧庁舎整備事業	30,058	—	市庁舎移転後の旧庁舎について、新たな利活用を図るため、旧吉田庁舎耐震補強・改修工事の設計業委託(12,780千円)、旧燕庁舎新館耐震補強・改修工事及び本館解体工事の設計業務委託(17,278千円)を行いました。
	64	政策調査研究費	1,273	1,685	社会・経済情勢の変化を的確に把握し、市政に反映させるため、専門家を講師とする月例政策研究会を開催しました。また、市民がまちづくりや身近な環境などについて、どのように考えているのかを調査・分析するため、燕市まちづくり市民アンケートを実施しました。
	64	行政改革推進費	431	449	平成23年度に策定した燕市行政改革大綱後期実施計画を着実に進めるため、進捗管理を行いました。また、指定管理者候補の選定や管理業務の評価を実施するための燕市指定管理者選定等委員会を開催しました。
	64	イメージアップ燕推進事業	1,502	963	「つばめ」の縁をきっかけに知名度の高い東京ヤクルトスワローズと連携することで、広く全国に向けて、燕市のPRを行うとともに、燕市とゆかりのある燕市PR大使を新たに任命し、その活動を通じて燕市のイメージアップを図りました。

企画財政部 地域振興課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主 要 事 業 名	決 算 額	H24決算額	事 業 の 概 要
総務費	64	広報広聴費	26,291	26,809	毎月1日、15日に「広報つばめ」を発行し、10月15日には、今年で2年目になる子ども記者の編集による「広報つばめ子ども版」を発行しました。また、燕市を紹介する「燕市ガイドブック」を作成しました。

(次ページへ続く)

企画財政部 地域振興課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
総務費	66	まちづくり協議会支援事業	13,619	14,760	市内13地区の「まちづくり協議会」が自主運営により展開する活動への財政支援と、各種相談業務や情報提供による人的支援を行いました。
	66	イキイキまちづくり支援事業	1,338	1,950	公益的な市民活動の活性化を図るため、行政と協働のまちづくりを行う6団体に対し、事業費用の一部を助成するとともに、団体と市関係課との意見交換の機会を設けました。
	66	YOU-GO支援事業	302	131	燕市の一体感を醸成するため、市内各地区の交流促進を図る活動を行う3団体を「燕はひとつ推進団体」として認定し、活動費用の一部を補助しました。
	66	男女共同参画推進事業	885	830	男女共同参画を実現するための啓発事業として「つばめ女と男ふれ愛フェスタ」や「女性リーダー交流研修」などの講演会を開催し、燕市男女共同参画推進プランの推進を行いました。
	66	協働推進事業	444	—	協働意識の向上と市民参画のまちづくりを推進するため、つばめ若者会議の立ち上げに合わせ、シンポジウムを開催しました。
	66	つばめ若者会議事業	8,100	—	燕市の20年後の未来を描き、その実現を目指し実行していく若者たちによるまちづくりの場として、「つばめ若者会議」を発足し、10回の全体会議を開催しました。成果品として「未来ビジョン」や「アクションプラン」を盛り込んだ冊子「つばめの幸福論2013」を作成しました。
	66	コミュニティ助成事業	2,500	5,000	コミュニティ活動の活性化を目的とした自治宝くじの助成金を受け、飛燕太鼓が太鼓の整備を行いました。
	78	統計調査費	7,348	4,085	住宅・土地の現況や保有状況を明らかにし、住宅施策の基礎資料とする「住宅・土地統計調査」と、工業の実態を明らかにし、生産活動に関する基礎資料とする「工業統計調査」を実施しました。

市民生活部 市民課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
総務費	72	戸籍住民基本台帳費	6,414	10,986	市民の利便性向上を図るため、新たに越後吉田、分水郵便局でも業務を開始、市内11局合計で3,295件の各種証明書を発行しました。(証明書発行経費3,787千円)
	72	住居表示整備費	16,061	482	JR燕駅周辺の11行政区で平成26年3月3日第5次燕地区住居表示を実施しました。(整備費16,040千円)実施日現在775世帯、2,034人。
	74	パスポートセンター費	674	2,130	市民の時間的、距離的な不便を解消するため、パスポートセンターにおいて平成25年度は1,472件の申請を受付ました。
	74	サービスコーナー費	4,030	—	新庁舎移転に伴い、燕庁舎分館と分水公民館にサービスコーナーを設置し、証明書の発行業務を行い6,194件の証明書を発行しました。

市民生活部 収納課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
総務費	70	収納経費	50,620	46,709	収納経費のうち、納税窓口拡大のためのコンビニエンスストアでの収納業務を、軽自動車税のほか、新たに市県民税・固定資産税についても開始し、22,531件の利用がありました。(1,380千円)

市民生活部 生活環境課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
総務費	80	交通安全推進事業	13,706	13,551	燕市交通安全協会に交通安全指導等の業務委託を行い、小中学校での自転車教室、幼保育園児を対象に歩行教室を実施しました。また、各交通安全運動期に反射材配布、高齢者家庭訪問等、子どもたちや高齢者を中心とした住民への交通安全教育及び指導を実施しました。
	80	自転車駐車場管理費	2,480	1,183	吉田駅前南北自転車駐車場の屋根雨樋の修繕工事(1,124千円)を実施しました。燕駅前、西燕駅前、吉田駅前南・北、北吉田駅前、北吉田駅裏、南吉田駅前、粟生津駅前、分水駅前、分水駅前桜町の自転車駐車場の施設管理を行いました。
	80	駐車場管理費	4,814	6,293	商店街の利用者及び駅を利用する通勤・通学者の利便性を図るために、吉田駅前・吉田駅裏・ビジョンよしだ前・分水学校町・分水本町・分水新町第1、第2・稲荷神社・諏訪町の市営駐車場の管理を行いました。
	80	生活交通確保対策事業	24,527	27,803	市民の生活交通を確保するため、民間路線バス事業者(越後交通・新潟交通観光バス)が運行する赤字路線に対し補助を行いました。
	82	公共交通運行事業	39,247	42,575	市民の生活交通を確保するため、地域公共交通会議を3回開催、デマンド交通システム「おでかけきららん号」の運行(運行費29,202千円)と循環バス「スワロー号」の運行(運行費7,968千円)を行いました。
衛生費	118	環境政策推進事業費	17,869	27,145	電力需要が高まる夏場と冬場の更なる節電を推進するため、事業所LED化設備設置費の一部を補助(6,905千円)しました。また、新エネルギー導入設備設置費の一部補助(4,755千円)も行いました。さらに、節電効果の見える化を推進するために公共施設30か所の電力のデマンド監視を行いました。その他、環境美化監視員等の配置及び子どもエコポスターコンクールを行いました。
	118	環境衛生費	9,163	9,553	各自治会が実施する衛生害虫駆除に対して、薬剤購入費の一部を補助(8,236千円)しました。
	120	公衆浴場対策費	656	2,284	老人、一人親世帯への公衆浴場の無料開放を毎月2回実施するため、燕浴場組合(1浴場)に委託を行いました。また、公衆浴場を確保し地域住民の公衆衛生の向上と増進を図るため、公衆浴場設備改善事業費の一部を補助(152千円)しました。
	120	畜犬登録事務費	349	306	狂犬病予防法に基づく犬の登録・抹消・異動等の管理や集合注射を行いました。また、フン害防止のための啓発看板を購入しました。
	120	温泉保養センター特別会計繰出金	18,037	14,600	市民の健康の増進と福祉の向上に寄与するために設置された温泉保養センター「てまりの湯」の事業債償還元金・利子を含む運営管理費として、特別会計へ繰り出しました。
	120	基金積立金	3,250	—	環境保護及び保全に対する寄附金を後年度の環境の保全及び整備に関する施策を推進させる事業に活用するために、環境整備基金を新たに設け積み立てました。
	120	燕・弥彦総合事務組合負担金(火葬場費)	597,433	51,664	火葬場の運転管理費の一部を負担しました。また、平成26年8月供用開始の斎場建設に係る経費の一部を負担しました。(平成24年度33,043千円→平成25年度581,218千円)
	120	霊園等管理費	54,668	4,845	市内3か所の墓地(小高墓地公園、吉田墓地公園、燕霊園)の維持管理や清掃、草取り及び樹木管理等を行いました。また、又新地内の燕霊園の南側隣地に1,841㎡の用地を取得し、4㎡(2m×2m)を240区画(うち1区画は無縁墓)造成(50,845千円)し、平成26年2月に抽選会を行い、市民の利用に供しました。
	120	清掃総務費	286	286	市内2か所の大型用水路(六ヶ江用水路、大曲裏用水路)のごみ処理業務の委託を行いました。また、清掃事業に関する知識と技術の向上を目指すため、新潟県清掃事業協議会への負担を行いました。

(次ページへ続く)

市民生活部 生活環境課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
衛生費	122	塵芥処理費	325,649	324,284	一般廃棄物(可燃・不燃・資源・粗大)の収集運搬業務、せん定枝リサイクル施設(吉田本町地内)の指定管理業務、側溝汚泥の収集運搬業務、資源ごみ引渡し品質向上業務の委託を行いました。また、ごみステーション設置費の一部の補助(1,614千円)や生ごみ処理器設置費の一部を補助(300千円)しました。
	122	燕・弥彦総合事務組合負担金(塵芥処理費)	336,634	2,004,781	ごみ処理を行う環境センター及びクリーンセンター館野の管理運営費のほか、施設の長寿命化対策に係る経費の一部を負担しました。
	122	し尿処理費	71,805	72,222	浄化槽を除く汲取り式便槽のし尿汲取りの収集運搬業務を委託し、延べ17,359件6,000kℓを汲取りました。
	122	し尿処理場運転管理費	113,356	98,540	汲取り式便槽及び浄化槽汚泥のし尿処理を行う衛生センターの運転管理を行い、30,107kℓを処理(1日平均103kℓ)しました。
	124	公衆便所管理費	183	205	燕地区2か所(宮町、南町金山神社)の公衆便所の維持管理を行い、清掃業務を委託しました。
	124	公害防止費	2,513	2,915	公害の未然防止のため、公共水域水質検査及び自動車騒音常時監視の業務を委託しました。また、高速道路等環境騒音測定への謝礼、信濃川を守る会協議会への負担金、燕市公害防止協会への補助を行いました。

健康福祉部 社会福祉課

(単位:千円)

款	決算書ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
民生費	82	民生委員事業	20,048	20,112	地域福祉推進のため、民生委員児童委員に地域住民の見守り、援助、情報提供と調査活動等を委託するとともに、民生委員児童委員活動が円滑に行えるよう支援しました。
	82	福祉施設運営事業	25,108	27,931	福祉関連の複合施設として燕市福祉の家「ふれあいセンター小中川」、燕市第二福祉の家「ふれあいセンター秋葉町」2施設の営繕管理、及び「燕市分水福祉会館」と燕市障害者地域生活支援センター「はばたき」2施設の指定管理委託を行いました。
	84	地域福祉推進事業	70,763	97,516	社会福祉事業等健全な発達及び社会福祉活動活性化を図るため社会福祉協議会の運営事業に補助金を交付しました。
	84	地域支え合いポイント制度推進事業	2,503	46	地域住民が支え合い、助け合う仕組みと体制づくりの構築に向け、モデル地区等における実証実験を社会福祉協議会に委託し、連携した中で実施しました。
	84	身体障がい者福祉事業	135,385	102,084	在宅障がい者への日常生活用具・補装具の給付や更生医療費給付等の助成を実施し、在宅重度心身障がい者の介護者に介護手当を支給しました。また、地域活動支援センターの運営助成を行いました。
	86	知的障がい者福祉事業	35,072	34,317	在宅知的障がい者に対する福祉事業として、知的障がい者地域活動支援センター等に対する負担金及び補助金を支出しました。
	90	心身障がい者扶養共済事業	4,888	4,783	新潟県が実施する心身障がい者扶養共済制度の加入者に対し、掛金の助成を行いました。
	92	重度心身障がい者福祉事業	50,552	52,370	精神または身体に著しく重度の障がいがあるため、日常生活において常時介護を必要とする方(児童)に対して、特別障がい者手当・障がい児福祉手当を支給しました。
	92	地域生活支援事業	47,945	40,602	障がい者及び障がい児の日常生活に自立がもたらされ地域生活が充実するよう、日中一時支援、移動支援、相談支援等の福祉サービスの支援やコミュニケーション支援事業を行いました。

(次ページへ続く)

健康福祉部 社会福祉課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
民生費	92	障がい者介護給付費支給事業	867,337	795,381	障がい者の居宅サービス、施設の入所・通所サービス等の各種サービス利用者に対し、利用料の支援給付を行いました。
	94	障がい児通所支援費支給事業	40,484	10,208	障がい児の通所訓練サービスの充実のため、放課後等デイサービス、児童発達支援のサービスなどに支援給付を行いました。
	104	要保護児童等対策事業	6,411	226	要保護児童対策地域協議会事務局に家庭児童相談嘱託員を配置し相談体制の充実と関係機関との連携により要保護児童の適切な保護及び支援を図るとともに生後4ヶ月までの乳児のいる家庭で新生児訪問を希望されなかった家庭を訪問し、養育環境の把握や助言を行い、児童虐待の未然防止に努めました。
	106	児童扶養手当給付事業	277,590	284,753	父母の離婚などにより、父又は母の一方からしか養育を受けられない児童の健やかな成長を支援するため、該当児童を養育している方に対し手当を支給しました。
	106	母子家庭等自立支援事業	3,652	5,461	DV等の理由で、一時保護の必要が生じた母子家庭の母に対し、自立に向けた支援を行うため、母子生活支援施設入所委託を行いました。
	106	児童手当給付事業	1,333,879	1,361,979	次世代の社会を担う子どもの育ちを社会全体で応援するため、中学校修了までの子どもを養育している保護者に児童手当を支給しました。
	106	生活保護事業	543,839	524,126	被生活保護者に対し、国の定める基準に基づき最低生活を保障するため、生活扶助、住宅扶助、教育扶助、医療扶助等による援助を行いました。
	108	生活保護適正実施推進事業	5,849	4,501	就労支援やその他事務において、通年で臨時職員を雇用しました。また、生活保護費の基準改定に伴う生活保護システムの改修を行いました。
	108	住宅手当緊急特別措置事業	182	603	就労能力と就労意欲のある離職者のうち、住宅を失った、又は失うおそれのある方に対し、住宅の確保と再就職の支援を目的に、ハローワークと連携しながら、住宅手当を支給しました。
衛生費	112	精神障がい者福祉事業	30,924	25,181	在宅の精神障がい者に対し、通所費の助成や地域活動支援センターの運営費を助成しました。

健康福祉部 長寿福祉課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
民生費	88	敬老事業	8,881	9,984	長年にわたり社会に貢献してきた方々の長寿を祝うため、米寿、95歳、100歳の方へ平成25年度から敬老祝い金にかえて敬老祝い品を贈りました。また、燕、吉田、分水各地区における敬老事業をまちづくり協議会及び地区公民館実行委員会へ委託し、地域ごとに敬老会を開催しました。
	88	在宅高齢者福祉事業	73,292	72,149	在宅介護手当の支給や高齢者等の住宅改修費用の補助などを行いました。
	88	介護予防・生活支援事業	55,825	52,257	高齢者の介護予防や生活支援のための各種サービス事業(配食サービス事業、緊急通報システム設置事業、介護保険低所得利用者対策扶助事業、紙おむつ支給券給付事業など)や補助事業(老人クラブ補助金など)を実施しました。
	88	老人保護措置費	162,601	200,852	環境や経済的理由により在宅生活が困難な高齢者の入所措置や社会福祉法人に対する介護施設等の建設に係る償還金の補助を行いました。(昨年度は小規模多機能ホームほうえんの里整備補助金として介護基盤緊急整備臨時特例補助金30,000千円を支出しました。)

(次ページへ続く)

健康福祉部 長寿福祉課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
民生費	90	老人保護措置費[明許繰越]	116,000	120,000	県の補助金を活用し、地域密着型介護老人福祉施設(分水いちごの実)の建設事業に対し、補助金を支出しました。
	90	老人デイサービス事業	22,766	22,757	一人暮らしや高齢者世帯の方を対象に、生きがい対応型デイサービスや高齢者交流ホーム事業を実施しました。
	90	生活支援ハウス維持管理事業	9,966	9,600	生活支援ハウス「分水こでまり」の指定管理委託を行いました。
	90	老人福祉センター運営費	38,177	37,481	老人センターの指定管理委託や運営費補助を行いました。
	90	シルバー人材センター運営費補助事業	22,104	22,766	シルバー人材センターに対し、運営費補助を行いました。
	90	介護保険事業特別会計繰出金	1,026,048	972,521	介護保険事業に係る保険給付費、地域支援事業費及び運営費等(職員給与、事務費等)の一部を介護保険事業特別会計に繰り出しました。

健康福祉部 健康づくり課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
衛生費	110	市町村血液推進事業	37	41	病気やけがで輸血を必要としている人へ、健康な人の血液をボランティアで提供していただく献血事業を実施しました。(年間延べ30会場で922人から採血)
	110	保健対策事業	852	3,620	第2次健康増進計画により、保健対策事業を実施しました。「元気磨きたい」活動を中心にワークショップや講義の実施、健康づくり推進委員会の開催により、広く市民の健康づくりについて協議を重ねました。
	112	予防事業費	177,061	209,070	乳幼児・児童・生徒への各種予防接種や高齢者のインフルエンザ予防接種を実施し、感染症の蔓延防止と疾病予防に努めました。フッ化物塗布やフッ化物洗口でう蝕予防にも努めました。
	112	結核予防事業	3,986	3,897	結核の早期発見・早期治療による重症化予防と感染防止を目的として、65歳以上の人を対象として胸部レントゲン検診(結核検診)を特定健診の15会場、30日間で5,986人に行いました。
	114	母子保健衛生事業	81,322	85,505	妊婦一般健康診査14回分の公費負担、妊婦へのハッピーベビークラブの開催、妊産婦・新生児への訪問指導、乳幼児・児童のインフルエンザ任意予防接種費用の助成、各種乳幼児健診の実施、育児相談会を開催しました。特定不妊治療については費用の一部を助成しました。
	114	健康増進事業	129,072	127,571	健康の保持・増進を図ることと、疾病の早期発見・早期治療を促進することを目的に、健康診査、各種がん検診、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診を実施しました。健康診査や各種検診結果を踏まえ、結果説明会、健康づくり教室の開催や、機能訓練事業、健康相談会、訪問指導を実施しました。またゲートキーパー養成講座等、自殺対策事業も実施しました。
	116	保健師活動費	8,410	18,590	市民一人ひとりの健康な生活をサポートするため、母子の健康管理、乳幼児の発達育児支援、成人の生活習慣病予防などの健康相談・保健指導を、保健センターや主に自治会単位の地域で実施しました。また、高齢者への介護予防や介護家族への家庭訪問も実施しました。
	116	総合医療対策費	11,496	11,623	休日在宅当番医制事業の委託、広域圏病院群輪番制や休日夜間急患センター県医師会に対する助成、応急診療所に対する補助を行い、地域住民の休日や夜間などの医療体制等の充実を図りました。
	118	保健センター管理運営費	5,825	66,944	健康づくりの基盤施設である各保健センターの営繕管理を行いました。(平成24年度 吉田保健センター改修費 59,533千円)

健康福祉部 保険年金課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
民生費	82	ひとり親家庭等医療費助成事業	38,397	39,464	ひとり親家庭の父又は母及び児童等に対し、医療費の自己負担額から一部負担金を除いた額を助成しました。
	82	国民健康保険特別会計繰出金	454,811	417,727	国保会計の健全化のため、保険税軽減分・職員給与費等分・出産育児一時金の一部・保健事業の一部を国民健康保険特別会計に繰り出しました。
	92	重度心身障がい者医療費助成事業	147,502	149,248	重度(身体障がい者手帳1・2・3級、療育手帳A)の心身障がい者に対し、医療費の自己負担額から一部負担金を除いた額を助成しました。
衛生費	112	精神障がい者医療費助成事業	39,804	43,133	精神障がい者の保険適用分の医療費本人負担額(高額療養費、付加給付を除く)の3分の2を助成しました。
	112	妊産婦医療費助成事業	8,930	8,145	妊娠届を提出した日から出産した翌月末日までの妊産婦の保険適用分の医療費本人負担額(高額療養費、付加給付を除く)の2分の1を助成しました。
	112	子ども医療費助成事業	201,726	209,964	出生した日から満12歳(ただし、保護者が3人以上の子どもを有している場合は、満15歳)に達した日以後の最初の3月31日までの子どもの通院に係る医療費及び出生した日から満15歳に達した日以後の最初の3月31日までの子どもの入院に係る医療費の自己負担額から一部負担金を除いた額を助成しました。
	114	未熟児養育医療給付事業	4,000	—	未熟児に対して、医師が入院療養の必要を認めた場合に、指定されている養育医療機関で入院療養をした医療費の一部を公費で負担しました。 ※平成25年度県から市への移譲事務
	116	後期高齢者医療広域連合運営費	697,017	668,420	療養の給付等に要する費用のうち一般会計で負担すべき額及び、新潟県後期高齢者医療広域連合の運営に必要な事務経費等について、県内各市町村が分担する額(共通経費)を納付しました。
	116	後期高齢者医療特別会計繰出金	149,790	147,385	低所得者等の保険料軽減分(県負担分を一部財源)と、おもに保険料徴収に係る事務経費を後期高齢者医療特別会計に繰り出しました。

商工観光部 商工振興課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
労働費	126	雇用促進事業	495	492	4月に市内事業所に就職された新規学卒者126名の歓迎会の開催や職業訓練協会に補助を行いました。
	126	労働福祉安全対策事業	8,563	8,787	家内労働の実態調査260件、安全衛生対策・動力プレス機械の自主検査185件の業務委託や労災保険料等の補助を行いました。
	126	勤労者総合福祉センター運営費	11,103	10,647	勤労者総合福祉センターの指定管理委託を行いました。また、空調機器の修繕工事を行いました。
	126	勤労者福祉事業	11,513	13,399	(公財)燕西蒲勤労者福祉サービスセンターが実施している福利厚生事業に係る管理運営費などに対し助成を行いました。
商工費	140	中小企業融資金貸付金	2,349,584	3,091,326	中小企業者の運転資金及び設備資金、工場用地の取得費等に係る融資を行いました。
	140	中小企業金融対策費	47,439	44,540	市の制度融資等に係る信用保証料の一部又は全部に相当する金額の助成や地方産業育成資金の県貸付金に係る償還を行いました。
	140	商工団体支援事業	27,709	28,578	日本金属洋食器工業組合、日本金属ハウスウェア工業組合、協同組合つばめ物流センター、燕商工会議所、吉田・分水各商工会等の事業に対して補助を行いました。

(次ページへ続く)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
商工費	140	地場産業販路開拓事業	25,967	26,140	見本市出展小間料の2分の1(1小間の補助限度額は100千円で最高5小間まで)を助成しました(96事業所:133件)。また、新たな販路・需要開拓の掘り起しのため、国内最大級の消費財見本市に出展し、優れた産地製品のPRを行いました。
	140	地場産業振興一般事業	1,434	987	中小企業大学校三条校・中小企業基盤整備機構・燕三条地場産業振興センター・にいがた産業創造機構で行われる研修受講料の一部を助成しました(交付対象者・研修種別により3分の1から3分の2を助成。49事業所:110件)。
	140	デザインコンクール事業	3,520	3,511	金属洋食器・金属ハウスウェア部門と関連製品・新分野開発商品部門のデザインコンクールの開催を燕商工会議所に委託しました。
	142	産業会館運営費	31,509	25,276	吉田産業会館の指定管理委託を行いました。また、LED外灯の設置工事などを行いました。
	142	商店街活性化事業	25,489	1,986	200メートルいちび負担金として1件(500千円)、未利用店舗活用に対する助成として2件(550千円)、共同駐車場設置に対する助成として1件(180千円)、小売店舗新改装設備に対する助成として3件(259千円)の助成を行いました。また、平成25年度は宮町商店街および燕大通商店街に対するアーケード撤去などの施設整備に対する助成を2件(24,000千円)行いました。
	142	みらい起業塾開催事業	269	—	これから燕市で開業を考えている方や興味のある方を対象に、店舗を開業させるための基礎知識や開業後の店舗運営に関するノウハウを習得することができる「みらい起業塾」を開催し、市内への新規出店の後押しを図りました。
	142	まちなかにぎわい創出支援事業	6,962	6,248	にぎわいの場を創出することで、まちの活性化を図るため、分水おいらん道中、200メートルいちび、吉田定期露店市(荒天により中止)、燕青空即売会と同時開催で「つばめるしえ」を開催しました。
	142	露店市場運営費	11,310	11,371	燕地区(3及び8のつく日)71回、吉田地区(1及び6のつく日)70回、分水地区(4及び9のつく日)71回の定期露店市を開催しました。
	142	観光推進費	51,508	50,665	緊急雇用創出事業補助金を活用し、着地型観光振興支援事業(9,927千円)を実施しました。また、地域発信型観光事業支援(3,000千円)及び弥彦村や寺泊と連携しニューツーリズム推進事業(1,500千円)を推進しました。さらに、観光協会、夏まつり等に対し助成を行ったほか、関係団体と連携し、燕青空即売会を共催しました。
	144	観光施設維持管理事業	16,003	12,905	年間30万人以上が訪れる国上山周辺、大河津分水公園周辺のトイレ及び公園等の観光施設の維持管理を行いました。朝日山展望台内のトイレ(取水庵)の受水槽加圧ポンプユニットの改修工事(4,357千円)を行いました。
	144	ふれあい交流センター管理運営費	14,016	12,936	年間約6万8千人が訪れるふれあい交流センターの管理運営を行い、道の駅を訪れる観光客等に観光案内や休憩コーナーを提供しました。また、NPO法人ふれあいパーク久賀美の企画イベントに対し助成を行いました。
	144	ビジター・サービスセンター管理運営費	4,796	5,843	年間約3万4千人が訪れるビジター・サービスセンターの管理運営を行い、国上山を訪れる観光客等に観光案内や休憩コーナーを提供しました。
	146	祭礼運営費	3,974	4,011	戸隠神社(春・秋)祭礼、天満宮祭礼及び吉田まつり、分水まつりの露店出店者の管理運営と臨時灯設置を行いました(露店出店者計496件)。
146	新商品新技術開発支援事業	11,355	24,979	市内の中小企業が行う新商品や新技術開発事業について、12件の申請に対し8件採択しました。その後、5件は年度内に事業を完了しましたが、1件は事業中止、2件は平成26年度に繰り越しています。	

(次ページへ続く)

商工観光部 商工振興課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
商工費	146	新商品新技術開発支援事業 [明許繰越]	7,218	—	市内の中小企業が行う新商品や新技術開発事業について、平成24年度から繰り越していた事業を完了し、補助(3件)を行いました。
	146	産地産業推進事業	13,281	13,612	工場建設に伴う用地取得費用や、工場建設費の金融機関からの借入金に係る利子について、それぞれ一部助成(用地取得費補助3件、建設資金利子補給7件)を行いました。
	146	成長産業参入支援事業	12,344	6,972	つばめ未来産業プロジェクトとして、上半期は成長産業分野の専門セミナーの開催(4回)や先進的企業への視察(2回)により、研究開発・参入に向けた土台形成を図り、下半期には事業所によるプロジェクトメンバーにより、平成26年度以降実施する事業について検討を行いました。また、医療機器産業を燕市に根付かせるための基礎を築くため、医療機器産業参入研究会に対して、試作品の研究開発を委託(6,000千円)しました(平成24年度は、勉強会の参加企業グループに対し、新商品新技術開発支援事業補助金として支出)。
	148	新需要開拓支援事業	3,469	4,099	中小企業の新需要創出・販路開拓を支援するため、出展勉強会を行うとともに、展示会への共同出展(2回)を行いました。また、燕商工会議所が行うTSO事業への補助を行いました。
	148	地場産業振興センター運営事業	160,189	161,223	施設管理費のほか、新市場販路開拓事業、企業開発力強化事業、燕三条ブランド推進事業、企業人材育成事業、需要開拓事業などを行いました。
	148	磨き屋一番館運営費	24,408	17,996	金属研磨業に携わる後継者の育成、新規開業者の促進、技術の高度化及び普及のための各種事業と施設の管理を燕研磨振興協同組合に委託しました。また、平成25年度は研修内容の充実を図るため、技能訓練室内に、金属洋食器を研磨することができる小型研磨機3台と集塵機を設置しました(工事請負費4,998,000円)。
	148	産地産業グローバル展開支援事業	3,368	14,428	中小企業の海外販路開拓を支援するため、海外ビジネス動向に関するセミナーを2回開催し、併せて海外見本市への出展経験が少ない企業への出展費用補助(1件)等を行いました。
	150	施設管理運営費(産業史料館費)	15,096	18,062	産業史料館の管理運営を行いました。また、ライブラリーコーナーを設置しました。
	150	企画展開催事業(産業史料館費)	2,580	2,463	特別展を10回開催するとともに、付随イベントを行いました。

農林部 農政課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
農林水産業費	130	農業総務費	6,152	8,460	農家組合長会議等における協議事項の審議や制度改正等に伴う農業者への説明及び連絡事項等について調整を図り、水田農業構造改革対策の円滑な推進を図るため、農家組合長に報酬を支出しました。 平成25年度 農家組合数:127農家組合
	130	農地面的集積促進事業	5,091	890	集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するために策定した「人・農地プラン(地域農業マスタープラン)」について、更新等の作業を行う一方、地域の担い手への効果的な農地集積の促進などの農業施策に活用できる「人・農地プラン」作成システムを整備しました。平成25年度は、新たに「人・農地プラン改定に係る地図情報整備委託料」として4,358千円を支出しました。

(次ページへ続く)

款	決算書 ページ	主 要 事 業 名	決 算 額	H24決算額	事 業 の 概 要
農林水 産業費	130	農業振興事業	8,440	12,935	農業者と消費者をつなぐ絆となる農業まつりを一本化して新たに開催、地産地消の推進、安全・安心な農産物の生産、販路拡大強化など、農業への理解と農業振興を図る取り組みに対して支援を行いました。また、平成25年度より新市民農園(43区画)を開設、旧市民農園を解体・整地し、地権者へ返還しました。
	130	農業担い手育成推進事業	1,130	1,180	認定農業者や生産組織・新規就農者等を育成するための各種研修会等の開催や担い手の組織活動に対する支援など、農業者の経営改善や資質の向上を図るための支援を行いました。
	132	経営基盤強化促進対策事業	22,212	20,931	人・農地プランの策定により地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連担化が進むようにするため、農地集積に協力する農業者42名に対し、農地集積協力金(農地面的集積促進事業費補助金)を交付しました。また、経営規模の拡大や猛暑等により農産物に被害を受けたことに伴う資金借入者への利子助成を行いました。 平成25年度 農地集積協力金交付件数:42件 平成25年度 利子助成件数:37件
	132	つばめ6次産業化推進事業	12	43	農畜産物の高付加価値化を進めるため、近県を含む取り組み内容をつばめ6次産業化推進協議会委員に情報提供するとともに、燕市の野菜(ブランド品目)を利用した加工案を市内の菓子製造業者2社と協議を進めました。
	132	青年就農給付金事業	4,500	—	新規就農に際しては所得の確保が大きな課題となっていることから、就農後の青年新規就農者に対して給付金を給付して、就農後の定着を図りました。 平成25年度 青年就農給付金給付者:2名
	132	畜産振興事業	515	561	安全・安心な畜産物を生産するため、家畜自衛防疫事業や良質な肉豚の生産に必要な種豚の導入事業等に対し補助金を交付しました。 平成25年度 自衛防疫助成:9戸 平成25年度 種豚導入助成:2戸
	132	国営土地改良事業	53,809	56,843	昭和55年度から平成15年度にかけて実施された国営西蒲原排水事業(排水機場8施設、排水路15路線及び水管理システム一式を整備)に係る償還金を支出しました。
	132	県営土地改良事業	96,488	75,759	用水不足の解消と排水対策及び農地の汎用化を推進するために行う県営かんがい排水事業、経営規模の拡大と大型機械導入による生産効率の向上を図るために行う県営経営体育成基盤整備(ほ場整備)事業、農業用水施設の機能保全を図るために行う県営地盤沈下対策事業及び六ヶ江地区の老朽化した用水路、取水樋管を改修する県営基幹水利ストックマネジメント事業などの負担金を支出しました。
	132	県営土地改良事業[明許繰越]	43,034	—	平成24年度に国の緊急経済対策が実施され、県営かんがい排水事業、県営経営体育成基盤整備(ほ場整備)事業及び県営地盤沈下対策事業の事業費が増額となり、繰越した分に係る負担金を支出しました。
	132	土地改良事業負担金補助金	70,377	51,164	農業用排水路整備等の良好な農業生産基盤の確保・保全と農業生産性の向上を図るために、西蒲原土地改良区等が行う土地改良事業に対し、負担金及び補助金を交付しました。
134	基幹水利施設管理事業	6,180	5,650	御新田地区の農地及び宅地等からの排水を国上隧道から日本海に排出するため、国営西蒲原排水事業で造成された御新田放水路制水ゲートに係る運転操作業務及び維持管理業務に係る委託料を支出しました。	
134	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業	14,272	8,758	良好な農業生産基盤を確保・保全するために行う農用地等集団化事業(富永・吉栄地区)、基盤整備促進事業(杉柳地区・田中新地区)を行う西蒲原土地改良区に対し補助金を交付しました。	

(次ページへ続く)

農林部 農政課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
農林水 産業費	134	水田農業構造改革対策事業	96,368	90,574	「需要に応じた売れる米づくり」など、米の需給調整の実効性の確保を図るため、達成した農家・生産組織・集落等に対して、各種助成を行うと共に、低コスト・環境保全型農業に取り組む農家並びに首都圏販路拡大推進等の事業に対して支援を行いました。
	136	村づくり交付金事業	21,172	217,136	農業用施設の維持管理の軽減と農業生産性の向上を図り、持続的な農業経営の確立、優良農地の確保、農産物の良好な生産条件を整備するため、国及び県の補助金の交付を受けて農業集落道(国上連絡道、国上集落道)の用地買収を行い、国上連絡道の第2次工事に着手しました。
	136	村づくり交付金事業[明許繰越]	120,000	26,344	農業用施設の維持管理の軽減と農業生産性の向上を図り、持続的な農業経営の確立、優良農地の確保、農産物の良好な生産条件を整備するため、国及び県の補助金の交付を受けて農業集落排水施設(深通排水路、太田前排水路、御見分排水路)及び農業集落道(国上連絡道)の整備を行いました。 (深通排水路:48,133千円、太田前排水路:32,440千円、御見分排水路:15,765千円、国上連絡道:23,662千円)
	138	農地・水保全管理支払交付金事業	47,745	42,290	地域ぐるみによる農地・農業用水路等の資源の良好な保全と農村環境の向上を図るための共同活動と、農地や集落周りの水路・農道等の施設の長寿命化のための補修・更新などを行う向上活動を支援しました。 平成25年度 共同活動取組組織数:60組織 平成25年度 向上活動取組組織数:31組織 (共同活動取組の60組織の内)
	138	環境保全型農業直接支援対策事業	1,635	1,860	農業者が、冬期間の水田に水を張る「冬期湛水管理」や、化学肥料及び農薬を使用しない「有機農業」等の地球温暖化防止や、生物多様性保全に効果の高い営農活動の取り組みに対して補助金を交付しました。 平成25年度補助件数:19件

都市整備部 都市計画課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
民生費	102	児童遊園管理費	8,217	7,499	児童遊園の維持管理及び遊具等の修繕を実施しました。また、遊具の老朽化に伴い、平成23年度より5年間で23基の遊具を再設置する計画であり、平成25年度は4基の遊具を再設置しました。
土木費	162	定住促進・まちなか支援事業	22,100	21,700	つばめのまちなかに住む子育て世代を支援するために住宅取得費の一部を補助しました。平成25年度は37世帯(126人)に交付し、うち市外からの転入は21世帯71人でした。
	162	都市公園管理費	90,095	75,161	都市公園の維持管理及び遊具等の修繕を実施しました。また、平成23年度より5年間で32基の遊具を再設置する計画であり、平成25年度は8基の遊具を再設置しました。その他、大河津分水さくら公園の管理棟の完成に伴い、管理人が常駐することから施設の維持管理業務を実施しました。
	164	都市公園管理費[明許繰越]	1,008	0	燕日之出町第一公園内の一部の土地が借地であったため公有財産として購入しました。
	164	緑化推進費	4,510	4,566	結婚・出産・住宅の新築をされた方を対象に、人生記念樹として、サクラ・サザンカ・ナナカマド・ナンキンハゼの苗木を264本贈呈しました。また、花と緑の推進事業として、自治会や各団体へ花苗や資材等を交付しました。
	164	緑地帯管理費	10,187	10,154	緑地帯の維持管理や街路樹の根が大きく成長することにより、歩道が盛り上がり歩行者等に危害を及ぼすことから、街路樹柵等の工事を実施しました。

(次ページへ続く)

都市整備部 都市計画課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
土木費	166	須頃郷公園整備事業	23,983	1,313	新幹線燕三条駅、北陸自動車道三条燕インターチェンジ周辺の地域住民及び商業施設利用者に憩いの場を提供し、インター付近の駐車場対策を兼ねた、多目的広場として公園整備を実施しました。
	166	須頃郷排水対策事業	216,323	26,057	近年頻発している豪雨による須頃郷地区の内水対策の強化を推進するため、道路地下への調整池設置工事2箇所に着手し、調整池設置及び幹線排水路改修の設計等に関する業務委託を6件、地質調査を1本実施しました。 (事業期間:平成24年度～平成28年度)
	166	(仮称)東町公園整備事業	68,071	6,788	中越衛生処理場の跡地を利用して、地域住民の憩いの場と防災機能を備えた公園とし、平成25年度は基礎的な部分として、盛土・駐車場整備・園路整備・フェンス等の整備及び管理棟建設設計業務委託を実施しました。 (事業期間:平成24年度～平成26年度)
	166	東町4号線道路改良事業	19,667	—	(仮称)東町公園のアクセス道路として、公園利用者と緊急車両の通行を円滑にするため、(仮称)東町公園に隣接する市道の整備工事L=292.3mを実施しました。
	166	大河津分水さくら公園バリアフリー化整備事業	33,996	—	公園利用者(高齢者・身障者等)の安全性・利便性の向上を図るため、大河津分水さくら公園の園路のバリアフリー化の整備を実施しました。
	166	交通公園サイクルモノレール改修事業	1,187	—	サイクルモノレール改修工事に係る測量、設計業務委託を実施しました。

都市整備部 土木課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
農林水産業費	136	国土調査事業	15,203	12,760	佐善、溝、溝古新、粟生津(0.53km ²)において、基準点測量及び一筆地調査を実施し、地籍図及び地籍簿を作成しました。
土木費	154	道路維持費	259,832	255,062	道路の陥没や側溝等の小修繕及び防犯灯やカーブミラーの修繕を764件、舗装修繕等108件、防犯灯新設123灯、除草作業、街灯電気料支出等を行い、安全で安心して通行できる道路環境の確保を図りました。
	154	幹線道路環境整備事業	49,818	49,910	本事業に該当する道路については、各地区を結ぶ重要な幹線道路であり、交通量も多く傷みやすいため、年次的に舗装の補修を行っています。平成25年度はL=2.4km舗装修繕を実施し、安全で快適な交通網の確保を図りました。
	154	市街地生活環境整備事業(吉田地区)	19,822	19,979	老朽化により排水機能が低下していた吉田地区市街地8箇所において、整備工事L=0.6kmを実施し排水機能を高めるとともに周辺の生活排水環境を改善しました。
	154	道路改良事業	141,333	99,210	各自治会からの要望のあった生活道路等の改善について、効果的かつ効果のある箇所及び継続工事を優先しながら、測量設計委託13箇所、道路改良工事を66箇所L=2.8km及び舗装工事を33箇所A=8,988m ² 実施しました。
	156	除排雪対策事業	273,109	327,740	消雪施設の保守・点検や漏水修繕及び電気料の他、除雪機械の点検・修繕・借上げ、除雪待機料、一斉除雪(1回)等を行い、市民の日常生活や物流の停滞を軽減し、冬期間における円滑な道路交通の確保を図りました。
	156	消雪施設整備事業	141,589	110,987	経年により能力の低下した井戸の改修等を11件、散水管の改修等938mを行いました。また、自治会による消雪施設工事費の50%補助を11件実施しました。
	156	下水路維持管理費	25,067	24,928	幹線排水路の清掃や除草、市街地における道路横断樋管の清掃や修繕、経年劣化による側溝の勾配修正や側壁等の修繕を行い、快適な住環境の確保を図りました。

(次ページへ続く)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
土木費	156	下水路整備事業	146,937	202,203	各自治会から要望のあった下水路整備について、効率的かつ効果のある箇所及び継続工事を優先しながら、測量設計委託22箇所、下水路整備工事を55箇所L=3.4kmを実施しました。
	158	吉田95号線道路整備事業	60,989	161,495	吉田駅前市街地と吉田北地区を結び、安全性・利便性等の向上を目的とした基幹道路として整備を行うため、平成25年度は、道路改良L=117mと公有財産購入及び物件移転を予定しているため、物件調査算定業務委託1軒を実施しました。
	158	吉田95号線道路整備事業 [明許繰越]	20,710	19,327	代替地選定のため、平成24年度内に除却が完了できなかったため、地権者1名について、物件移転及び用地買収を明許繰越により実施しました。
	158	新生町佐渡線歩道整備事業	17,324	—	佐渡橋兩岸の取付道路において、歩道がなく路肩の狭い区間が存在しており、歩行者等の安全確保を図るため、歩道整備をL=257m実施しました。また、歩道設置にあたり道路照明、消雪ポンプを1箇所づつ移設しました。
	158	新生町佐渡線歩道整備事業 [明許繰越]	19,850	—	佐渡橋右岸の取付道路において、歩道がなく路肩の狭い区間が存在し、尚且つ急な坂道であるため、歩行者等の安全確保ができないので、歩道整備をL=153m実施しました。
	158	道金9号線歩道整備事業	30,541	11,836	本路線は、小池中学校に接続する道路で同中学校の通学路として利用されており、また、道路幅員も狭く歩道も無いことから、新たに歩道を敷設し通学生徒の安全確保を図るため、歩道整備をL=279m実施しました。
	158	吉田東栄町5号線歩道整備 事業	40,413	34,245	吉田南小学校跡地内各施設へのアクセス道路として、また、周辺道路とのネットワーク化を図る歩道整備工事をL=30m実施しました。また、平成26年度に公有財産購入及び物件移転を予定しているため、物件調査算定業務委託1軒を実施しました。
	158	松橋長所線歩道整備事業	6,849	—	本路線は、松長小学校及び燕中等教育学校へ通学する歩行者が多数おりますが、道路幅員も狭く歩道も無いことから、歩行者等の安全性を図るため、歩道整備全体延長約980mの詳細設計を実施しました。
	158	高速バス乗場駐車場整備調 査事業	5,612	—	インターチェンジに高速バス乗り場が設置されていますが、近年利用者の路上駐車が急増しており、沿線住民や自転車・歩行者の通行が危険な状況となっているため、利用者の専用駐車場を設置するための詳細設計を実施しました。
	158	南二丁目5号線他雪寒事業	13,467	40,658	南町地区の消雪施設は、昭和40年代から50年代にかけて整備されましたが、経年により老朽化が著しいため、リフレッシュ事業を活用し、散水管518mの更新を行い、機能回復を図りました。
	158	柳山幹線他雪寒事業	29,268	—	冬期間における歩行者の安全と円滑な交通を確保し、雪に強い地域づくりを進めるため、柳山地内に消雪施設の井戸1本、散水管712mを新設しました。
	158	弥生町文京町線雪寒事業	28,955	—	冬期間における歩行者の安全と円滑な交通を確保し、雪に強い地域づくりを進めるため、分水弥生町・分水文京町地内に消雪施設の井戸1本、散水管635mを新設しました。
	158	橋梁修繕事業	64,620	10,432	吉田駅人道橋は越後線と弥彦線を跨ぎ吉田駅を利用者する人達に重要な橋であるが、部材の塗装劣化・高欄の腐食等により列車や歩行者に被害が及ぶ恐れがあるため修繕しました。
	158	道路ストック総点検事業[明許 繰越]	9,860	—	道路利用者が安全・安心に市道を利用できるよう管理すると共に、第三者被害の発生を防止するため、道路照明398基、道路標識104基の調査を実施しました。

(次ページへ続く)

都市整備部 土木課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
土木費	158	河川維持管理事業	8,455	8,127	大河津分水路増水時の島崎川及び柳場川排水機場の運転管理を行いました。また、大河津分水路や中ノロ川、西川の堤防法面の除草を行い、河川環境の適正な維持管理を行いました。
	160	水防事業費	3,940	6,423	集中豪雨時の臨時排水ポンプの設置や運転管理を行いました。また、浸水の危険性のある箇所土のう設置等の準備を行い、浸水被害の軽減を図りました。
災害復旧費	222	道路橋梁災害復旧費	3,075	7,999	平成25年7月29日の豪雨により、渡部地内他において土砂災害が発生したため、復旧工事を実施しました。

都市整備部 営繕建築課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
土木費	162	建築総務費	35,986	37,555	【住宅リフォーム助成事業】リフォーム工事を実施した者に助成金を交付しました。(工事費の10%・上限10万円)助成件数:392件 【木造住宅耐震診断事業】木造住宅の耐震診断を実施した者に補助金を交付しました。(自己負担額1万円)補助件数:2件 【民間建築物アスベスト含有調査事業】民間建築物の含有調査を実施した者に補助金を交付しました。(調査費の100%・上限25万円)補助件数:2件 【空き家・空き地活用バンク事業空き家解体撤去費助成】空き家の解体工事を実施した者に助成金を交付しました。(対象工事費の50%・上限50万円)助成件数:3件
	166	市営住宅等管理費	53,554	18,993	市営・市有住宅の各種修繕、補修工事等を行いました。主に給排水衛生設備、床や壁等の内外装老朽化による修繕及び住宅解体、通路舗装、公共下水道接続工事等を行いました。
	168	県営住宅管理費	8,497	7,526	県営住宅の各種修繕、補修工事等を行いました。主に給排水衛生設備、床や壁等の内外装老朽化による修繕及び駐車場区画線設置や雨漏り補修工事を行いました。

都市整備部 下水道課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
土木費	164	公共下水道事業特別会計繰出金	1,393,234	1,351,408	雨水処理に要する費用、汚水処理に要する費用の一部、下水道事業債の償還にかかる費用の一部等を公共下水道事業特別会計に繰り出しました。
	164	都市下水路維持管理費	7,175	15,394	都市下水路の除草や江ざらい等の維持管理、南ポンプ場や荒井排水機場の修繕や運転管理等の維持管理を行いました。

議会事務局 議事課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
議会費	54	議会運営費	15,741	15,769	年4回開催される定例会や臨時会等を適正かつ円滑に運営しました。 ・議会だよりを年4回発行し、議会で審議された予算や条例などの内容、市政に対する一般質問、各議案に対する質疑などの情報をお知らせしました。(1,647千円) ・市議会での会議録調整を含めた活字データを総括的に利活用し、議会だよりの編集アドバイス、ホームページでの会議録検索機能の活用を導入、新たに本会議の様態をインターネットによるライブ中継及び録画映像の配信を実施しました。(5,587千円)

農業委員会事務局

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
農林水 産業費	128	農業委員会費	20,925	21,148	農業委員会は、「農業委員会等に関する法律」に基づき、地域農業の発展及び担い手の育成確保など農業経営の安定・合理化に向けて、活動を行いました。
	128	農業者年金事務費	471	556	独立行政法人 農業者年金基金からの業務委託により、「農業者年金制度の適正運用」を図り、農業者年金加入促進に向けた活動等を行い、2名の新規加入がありました。

教育委員会 学校教育課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
教育費	174	Jack & Bettyプロジェクト	31,019	-	平成25年度新たに、燕の未来を担い次の時代をリードする人材を育成するために、幼保・小・中を通じて国際理解教育及び英語教育の一層の充実・推進を図るため、Jack & Bettyプロジェクトに取り組みました。平成25年度は、ALTや英語指導助手の配置、海外派遣事業(参加者12人)等に加え、英語スピーチコンテスト(参加者26人)、Jack & Betty教室(参加者181人)等を実施しました。
	174	特別支援学校就学援助扶助費	4,811	5,411	本市在住の盲・聾・特別支援学校の児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行いました。
	174	奨学金貸付事業	125,622	121,856	教育の機会均等と人材育成を図るため、修学の意欲があり、経済的理由により就学が困難な学生または生徒に対して奨学金の貸与を行いました。 新規貸与決定者 39人(大学 29人、短大2人、専修学校6人、高校2人)
	174	基金積立金	3,004	30,377	寄附金を子ども夢基金に積み立てました。
	174	教職員住宅維持管理事業	14,190	2,039	教職員住宅の維持管理のほか、分水教職員住宅の解体工事(12,596千円)、二階堂教職員住宅跡地の購入(158.6㎡)を行いました。
	176	旧燕工業高等学校再利用事業	1,501	1,678	旧燕工業高校の施設の維持管理を行いました。
	176	サポートチーム支援事業	875	654	スタッフ会議を運営し、不登校児童・生徒への個別支援に当たりました。また、学校だけで解決が困難と思われる問題行動等についても対応しました。
	176	地域に根ざす学校応援団事業【教育立市】	9,812	15,056	学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長や地域全体の教育力向上を目的として、地域コーディネーターとの連携により、学校支援ボランティアによる「地域に作られた学校の応援団」として地域住民の参加を図りました。また、平成25年度新たに、地域住民の参加による「放課後等の学習支援活動」に取り組み、自主学力向上を図りました。
	176	ICT活用実践事業【教育立市】	12,545	6,600	子どもたちの学習意欲を引き出すとともに、基礎学力の定着を目指し、プロジェクターやスクリーン・書画カメラを使用した分かりやすい授業を展開しました。平成25年度に2校(吉田小学校、吉田中学校)を整備し、全学校への整備が完了しました。
	176	小中学校教職員研修事業	1,347	1,424	教職員としての資質(授業力・生徒指導力・学級運営力等)向上を図るため、県内外の先進校への視察研修補助(ときめきスクール推進事業863千円)に加えて、平成25年度の新たな取り組みとして、各種教育研修会を教育委員会が主管し、さまざまに変化する教育課題に対応する力の向上を図りました。
176	ICT地域人材育成・活用事業【教育立市】	2,562	2,592	ICT支援員を雇用して学校へ配置し、ICT機器(タブレットPC、電子黒板)・ソフトウェアを積極的に活用することで児童生徒の学力向上を図りました。	

(次ページへ続く)

教育委員会 学校教育課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
教育費	178	燕ジュニア検定事業	1,299	677	小学校の子どもたちを対象に、地域の歴史や文化等を楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定問題集(平成23年度作成)」に取り組みました。各小学校で、燕長善タイム等の時間を利用して学習し、平成24年度に引き続き検定試験を実施し、2,710人が受験しました。
	178	新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業	806	370	児童生徒の「言葉の力」育成を目指して、新潟大学教育学部の最新の専門的理論を研究している教授・准教授を指導者として招き、国語・外国語について計画的・継続的に指導助言を受けました。国語4校(燕東小学校、粟生津小学校、島上小学校、吉田中学校)、英語7校(燕西小学校、小池小学校、大関小学校、分水小学校、燕中学校、小池中学校、分水中学校)で授業研究を進めました。
	178	子ども夢づくり事業	2,713	3,244	子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場する遠征費の補助及び小中学校の児童会生徒会等で子どもたちが自ら運営を行う「夢」のある事業の補助を行いました。 (・遠征費補助実績:小学生44人、中学生48人 2,065,601円 ・夢づくり支援事業補助実績:小学校10件、中学校2件 647,500円)
	178	海外派遣事業	950	-	姉妹都市のアメリカ合衆国ダンディ村へ中学生4人を派遣し、青少年の国際理解を深めるとともに、燕市の将来を担う人材の育成を図りました。(地域振興課から移管)
	178	長善館学習塾事業	465	(74)	ふるさと燕市を愛し、様々な分野において将来の燕市を担い、活躍する次世代のリーダーとなる人材を育成するため、小学生16人に長善館の精神を活かした勉強や生活を体験する長善館学習塾を開催しました。(社会教育課から移管)
	178	広島平和記念式典派遣事業	524	(521)	非核平和宣言推進事業の一環として、市内5中学校から代表生徒それぞれ1人を、広島平和記念式典に派遣し、国際的な視野をもって命の尊厳や平和の尊さについて理解をできる生徒の育成に努めました。(総務課から移管)
	178	「入学前プログラム」による笑顔で入学支援プロジェクト	52	-	燕西小学校と吉田南小学校をモデル校として、平成26年度小学校入学予定児童の保護者を対象に講演を行い、入学に対する不安解消や心構えなど入学を円滑にするための支援を行いました。
	178	教育指導費	12,968	9,689	児童・生徒の基礎学力の定着度を把握し、指導方法の改善を図るための学力検査(NRT・CRT)や学校生活の満足度検査(QU)を実施しました。
	178	課外活動事業	515	1,155	燕市・西蒲原親善陸上大会への補助金交付を行い、陸上競技を通して技と友情を深め合う大会の開催を推進しました。
	178	教育指導充実事業	43,809	45,612	小中学校に学習指導補助員を配置し、各学校においてきめ細やかな学習指導、特別活動及び生活指導等を行うことにより、児童生徒の健全育成を推進しました。
	178	別室登校児童生徒学習支援員配置事業	2,722	2,875	中学校に別室登校児童生徒学習支援員を配置し、学校には登校できても教室に入ることのできない生徒に対して、学校と連携しながら個に応じた学習支援を行いました。
	180	教育センター費	5,455	35,993	教育関係職員の研修や教育相談等を実施する教育センター施設の管理運営を行いました。
	180	適応指導教室事業	6,638	6,998	学校生活に適応できない不登校児童生徒に対し、集団生活への適応指導カウンセリング、学習指導等を通して、児童生徒の自立等を促し、学校生活への復帰を支援しました。
	180	教育相談事業	879	921	学校生活や勉強について困っていることや悩みを持っている児童生徒、保護者に対して専門の相談員が教育・育成相談を行いました。

(次ページへ続く)

教育委員会 学校教育課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
教育費	180	言語・発達障がい通級指導教室運営費	107	123	言葉・情緒に障がいをもつ子どもが「生きる力」を高め、かつ積極的に生活を切り開いていくことができるように、言語通級教室(燕西小・吉田小)・発達障がい通級教室(吉田南小)で専門的な指導を行いました。
	180	視聴覚ライブラリー運営費	55	80	視聴覚教材の貸出や活用を行い、視聴覚ライブラリー施設の管理運営を行いました。
	180	子どもを育む推進事業	453	459	中学校区単位で深めよう絆スクール集会を実施し、絆づくりやいじめ根絶に対する意識の高揚を図るとともに、児童生徒の健全な育成のための実践的な事業を行いました。また、年々変化する子ども達を取り巻く環境に対応するため、学校・家庭・地域の連携により現状等について協議する場として燕市子どもを育む推進協議会を開催しました。
	180	心の教室相談員派遣事業	813	747	中学校へ心の教室相談員を派遣し、生徒一人一人の相談内容に適切に対応するための事業を行いました。
	182	教育総務費(小学校費)	49,437	48,139	小学校施設の管理を行いました。
	182	遠距離通学支援事業(小学校費)	11,082	10,674	遠距離通学児童に対してのスクールバスの運行を行い、またスクールバスを運行していない地区については助成金を支給して、保護者負担の軽減を図り、通学の支援を行いました。
	184	教育振興扶助費(小学校費)	36,597	38,289	経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び、小学校へ就学する学校教育法施行令第22条の3に規定する障がいの程度に該当する児童若しくは特別支援学級に在籍している児童の保護者に対し、小学校でかかる費用の一部を助成しました。
	184	校外学習推進事業(小学校費)	4,779	4,991	見学や体験などを行うことを目的として、外部施設等に出かけて学習するための支援を行いました。
	184	理科教育等設備整備事業(小学校費)	3,007	1,926	児童の科学的な知識、技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うために理科備品を購入しました。
	184	小学校整備事業	84,513	58,312	小池小学校の煙突ストーブ改修、島上小学校のグラウンド改修工事等、各小学校施設の整備・修繕を行いました。
	184	吉田小学校改築事業	8,266	78,686	吉田小学校屋外運動場改修工事及び付帯施設解体工事に伴う設計業務委託等を行いました。
	184	小中川小学校大規模改造事業[明許繰越]	231,637	279,596	小中川小学校校舎大規模改造(Ⅱ期)工事を行いました。
	186	教育総務費(中学校費)	17,682	18,336	中学校施設の管理を行いました。
	186	遠距離通学支援事業(中学校費)	3,574	4,005	遠距離通学生徒に対してのスクールバスの運行を行い、またスクールバスを運行していない地区については助成金を支給して、保護者負担の軽減を図り、通学の支援を行いました。
	186	教育振興扶助費(中学校費)	38,901	40,661	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者及び、中学校へ就学する学校教育法施行令第22条の3に規定する障がいの程度に該当する生徒若しくは特別支援学級に在籍している生徒の保護者に対し、中学校でかかる費用の一部を助成しました。
188	校外学習推進事業(中学校費)	360	312	見学や体験などを行うことを目的として、外部施設等に出かけて学習するための支援を行いました。	
188	スポーツエキスパート活用事業	564	564	運動部活動に熱心に取り組み競技力の向上を目指している中学校に対して地域の優秀な外部指導者を派遣することにより、地域社会と連携した運動部活動の活性化と生徒の体力の向上を図りました。	

(次ページへ続く)

教育委員会 学校教育課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
教育費	188	理科教育等設備整備事業 (中学校費)	2,012	1,053	生徒の科学的な知識、技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うために理科備品を購入しました。
	188	運動部活動地域再構築事業	679	453	生徒が多様なスポーツを楽しむとともに、教員の負担を減らし生徒と向き合う時間を確保する観点から、地域人材を活用しながら各学校からの要望に応じて、中学校の運動部活動へ指導者の派遣を行いました。
	188	中学校整備事業	6,193	9,509	分水中学校物置小屋撤去修繕、小池中学防球ネット修繕等、各中学校施設の整備・修繕を行いました。
	188	吉田中学校大規模改造事業 [明許繰越]	475,098	418,179	吉田中学校屋内運動場大規模改造工事を行いました。
	206	学校衛生管理費	23,303	22,491	児童・生徒及び教職員の健康保持のために、各種健康診断や環境衛生検査を実施するなど教育環境の整備・充実を図りました。
	208	学校給食運営費	155,416	160,283	燕地区の児童生徒約3,900人に学校給食を提供しました。また、学校給食用スプーンを新たに購入しました。
	208	給食センター管理運営費	73,172	72,487	吉田及び分水地区の児童生徒約3,600人に学校給食を提供しました。
	208	給食センター総務費	2,529	7,022	給食センター施設の整備・修繕を行いました。
	208	東部学校給食センター建設 事業	88,163	—	東部学校給食センター建設にあたり、平成25年度は給食センター用地の測量、開発申請業務委託及び用地買収を行いました。
	210	西部学校給食センター改築 事業[逡次繰越]	626,300	—	西部学校給食センター改築工事(I期)工事を行いました。

教育委員会 子育て支援課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
民生費	94	児童福祉総務費	1,918	916	新たな子ども・子育て支援の制度のもとで、教育・保育・子育て支援の充実を図る目的で、燕市子ども・子育て支援事業計画を策定するためのニーズ調査を行いました。
	96	保育園運営費	696,947	739,267	次の世代を生きる子どもたちが豊かに健やかに育つよう、20か所の公立保育園で、園児1,894人の保育を実施しました。また、多様な保育サービスの提供により、保護者の子育てを支援しました。
	98	保育園整備事業	18,424	24,842	地藏堂保育園屋上防水改修工事、西燕保育園駐車場フェンス改修工事、吉田北保育園食器洗浄機設置工事等を行いました。また、平成27年度に(仮称)燕西こども園の増築・改修工事を燕保育園で実施するにあたり、一部用地を先行取得し、付帯施設の解体及び駐車場整備工事を行いました。
	98	私立認可保育所経費	672,157	839,145	私立保育園6か所の園児612人の保育運営にかかる経費、私立保育園が行う特別保育等にかかる経費について負担しました。また、私立保育園への貸付金や、安心こども基金の活用により次の事業に対する補助金の交付を行いました。 ①一時預かり事業(5,160千円) ②地域子育て支援センター事業(14,840千円) ③保育士等処遇改善臨時特例事業(8,416千円) ④ぎんなん保育園園舎改築工事【平成25年度】(68,000千円)
	98	保育所広域入所委託事業	20,906	22,177	家庭の事情、保護者の勤務形態、里帰り出産等により、市内の保育園での保育が困難な39人の児童のために、他市町村の保育園に保育を委託しました。
	98	認可保育所フリー保育士配置 事業	2,003	10,569	フリー保育士が配置されない認可保育園に保育士を1人配置し、保育士の研修機会の確保や気になる子の見守り等を行うことにより、保育の充実を図りました。

(次ページへ続く)

教育委員会 子育て支援課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
民生費	98	(仮称)吉田統合保育園建設事業	652,250	163,100	燕市立吉田中央保育園及び吉田神田保育園を統合して、吉田小学校前の敷地に認可保育園を建設しました。(延床面積:2231.98㎡)
	98	吉田西太田保育園増改築事業	17,671	—	平成26年度に燕市立吉田西太田保育園の増築・改修工事を実施するにあたり、平成25年度は設計業務委託及び地質調査業務委託を行いました。
	98	児童館運営事業	41,820	43,610	健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにするための施設として、また、親子のふれあいの場、交流の場として7か所の児童館の運営を行いました。(来館者数:145,710人)
	100	児童研修館運営事業	29,377	17,716	乳幼児や児童とその保護者を対象に各種教室や体験活動など、地域子育て支援拠点事業を実施し、児童の健全育成を推進するための児童研修館の運営を行いました。(来館者数:43,272人)
	100	児童クラブ運営事業	82,676	67,083	就労等により、昼間保護者が家にいない小学校1～4年生の児童を放課後に預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者の就労支援を推進しました。(児童クラブ:13か所、放課後児童:428人)
	102	(仮称)分水小学校児童クラブ建設事業	96,815	(7,770)	分水のなかまの会からわか竹児童クラブに移行するため、分水小学校敷地内に新たに放課後児童クラブ棟を建設しました。(延床面積:313.66㎡)
	102	なかまの会管理運営費	20,322	19,168	異年齢の交流や、安全な居場所の確保のため、6か所のなかまの会の運営・事業を行いました。(利用児童数:延べ40,688人)
	104	地域子育て支援事業	33,378	11,221	保育園等に入園していない子育て家庭の育児相談指導と情報提供及び子育ての輪を広げるため、5か所の子育て支援センターの運営を行いました。(利用者数:入園前の親子等38,298人)また、小学校入学時子育て支援金(すこやか赤ちゃん誕生祝い金等支給事業)を支給しました。(90件:19,700千円)
	104	ファミリーサポートセンター運営事業	4,143	4,110	仕事と育児の両立を支援するため、育児の受けたい方、援助を行いたい方が会員組織として相互援助活動を行うファミリーサポートセンターの運営を行いました。(会員数:依頼会員274人・提供会員86人・両方会員57人、活動件数:幼稚園・保育園などの迎えおよび帰宅後の預かりなど2,659件)
	104	病児・病後児保育事業	14,259	127	ファミリー・サポート・センターを活用して、病気回復期や病後で保育園など集団生活が困難な時期の子どもを一時的に預かる病後児保育の受入れ体制に向けて、講習を9回実施しました。
	104	地域子育て支援講座事業	273	584	子育ての不安や悩みを同世代の母親同士で話し合い、自分に合った子育てを考えるNPプログラムを0歳の母親と1～3歳の母親を対象に1講座(6回)実施しました。
106	子育てつばめメール配信事業	499	—	登録した会員に相談窓口や支援制度、イベントなど子育てに関する情報を携帯電話やスマートフォンにメール配信し、子育てを支援しました。(登録件数:427件)	
教育費	188	幼稚園運営費	9,186	16,431	教育委員会の定めた教育課程やきめ細やかな指導方針に基づいて、市内4か所の公立幼稚園で保育を実施しました。
	190	幼稚園総務費	8,432	8,146	幼稚園施設の管理及び整備・修繕を行いました。
	190	私立幼稚園就園奨励事業	9,624	9,126	市内に住所があり、私立幼稚園に在園している満3歳以上児の保護者で、市民税額が基準額以下の世帯に補助金を支給しました。(満3歳児2人、3歳児29人、4歳児32人、5歳児33人)

教育委員会 社会教育課

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
労働費	126	勤労青少年ホーム管理運営費	6,699	7,268	燕・吉田地区勤労青少年ホームの施設の維持管理に係る夜間代行業務、保守点検業務等の委託及び維持修繕工事等を行いました。
教育費	190	生涯学習推進費	100	368	生涯学習の推進を図るため、生涯学習推進協議会を開催し生涯学習推進計画の評価を行いました。また、市民の主体的な学習活動を支援することを目的とした燕市生涯学習サイト「まなびネット」を開設し、団体の活動状況、市の生涯学習に関する情報を配信しました。
	190	社会教育総務費	1,339	1,429	社会教育行政に係る社会教育委員の会議(2回)を開催しました。また、県内社会教育委員との情報交換・研究協議に係る研究集会等へ参加しました。
	192	成人式事業費	663	667	平成26年3月16日(日)、新成人807人(対象者:平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれ)を燕三条地域地場産業振興センターに招き、成人式を行いました。
	192	家庭教育推進事業	251	260	幼保育園・小中学校が主催する家庭教育講演会(34回)の助成を行いました。また、食育推進事業として親子を対象に、親子食育講座(2回)を開催しました。
	192	中央公民館管理運営費	18,981	17,264	公民館運営審議会委員会議(2回)の開催、県内公民館活動に係る研究大会への参加、及び中央公民館の施設管理に係る保守点検業務委託、維持修繕工事等を行いました。
	194	地区公民館管理運営費	38,579	32,444	吉田・分水地区公民館の施設管理に係る臨時職員の賃金、日直・夜間代行業務委託、保守点検業務委託、分水サービスコーナー開設に伴う工事(916千円)、維持修繕工事等を行いました。
	194	中央公民館事業	8,400	7,656	市民教養講座(ピアノ講座、陶芸講座等13講座14コース)、つばめ目耕塾(12回)、燕大学(3回)、子ども教室(111回)、子ども体験活動センター事業(風の子くらぶ等)等を行いました。
	194	地区公民館事業	985	948	吉田・分水公民館を会場に健康講座(4回)及び文化祭、芸能発表会等を行いました。
	194	分館管理運営費	53,948	50,738	中央公民館8分館及び吉田公民館2分館の施設維持管理に係る分館長(6人)・分館推進員(6人)報酬、警備業務委託、維持修繕工事等を行いました。また、吉田北・粟生津体育文化センター、西燕・小池公民館の指定管理委託を行いました。
	196	分館事業費	1,284	1,257	中央公民館6分館において、地域に密着した健康づくり教室、書道教室、料理教室、文化祭等を行いました。
	196	吉田公民館耐震改修事業	9,969	—	安全・安心な市民の生涯学習活動の拠点として、また、災害時には避難施設として市民の安全を確保するため、施設の耐震補強改修工事に係る基本・実施設計業務委託を実施しました。
	196	図書館管理運営費	82,752	59,755	「燕市立図書館」、「吉田図書館」、「分水図書館」の3図書館を一括して人件費を含め指定管理委託を行いました。
	198	青少年育成センター事業	1,165	1,192	青少年への街頭補導活動及び社会環境浄化活動等を行いました。また、引きこもりやニートの若者対象の相談事業(114件)及び自立支援事業等についての講演会(1回)を開催しました。
	198	文化会館管理運営費	23,799	21,979	文化会館の光熱水費、舞台・音響・照明保守点検等の施設維持管理を行いました。
200	自主事業	17,647	16,134	小学校合同演劇鑑賞会、マイタウンコンサート、「秋川雅史」コンサート、つばめ音楽祭、ロック&フォークフェスタ、ノイズム2を開催しました。また、自主的な文化活動を行う市民団体に対して、事業費助成を行いました。	

(次ページへ続く)

教育委員会 社会教育課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
教育費	200	文化会館改修事業	6,720	—	築32年が経過し、経年劣化が著しい舞台関係設備を改修・更新し、安全でより高い舞台芸術を提供するための改修工事に係る、基本・実施設計業務委託を実施しました。
	200	吉田ふれあいセンター管理運営費	8,089	7,571	吉田ふれあいセンターの施設管理に係る臨時職員(1人)賃金、施設維持に関する日直・夜間代行業務、冷暖房機器保守管理業務委託等、及び駐輪場修繕工事を行いました。
	202	分水良寛史料館管理運営費	8,851	7,789	良寛史料館の保守管理委託など維持管理を行いました。
	202	分水良寛史料館展示事業	1,615	1,964	寄贈品や寄託品及び館蔵品を中心に常設展示・特別展を開催いたしました。 春の特別展「良寛墨宝展」(入館者401人) 夏の企画展「良寛様を学ぼう」(入館者224人) 秋の特別展「良寛墨宝展」(入館者622人) 冬の企画展「郷土作家の作品展」(入館者279人)
	202	長善館史料館管理運営費	4,043	4,081	長善館の歴代館主や門人の史料の展示及び館の保守管理委託など維持管理を行いました。
	204	文化財保護事業	710	3,035	市指定文化財看板等修理など地域の文化財保護、及び「水道の塔登録有形文化財プレート」を設置し、お披露目を開催するとともに、記念講演会を行いました。
	204	埋蔵文化財事業	20,647	694	市内遺跡試掘調査(4か所:9,747千円)、発掘調査(カノ尾南遺跡:10,385千円)を行い、また、分水地区所在の遺跡を中心とした遺跡出土品展を開催しました。(来場者数736人)
	204	文化振興事業	5,852	4,800	文化団体に対する活動支援、美術展覧会及び良寛書道展の開催や、「郷土史燕」「文芸つばめ」を発刊しました。また、新庁舎完成記念に「横山操展」を開催しました。
	206	米納津隕石展示事業	817	—	米納津隕石の現物を、東京国立博物館より借用し、「米納津隕石里帰り展」を開催しました。来場者:4,970人 ・里帰り歓迎会(9月10日)300人 ・展示説明会(9月15日)177人 ・星空コンサート&星空観察会108人
	210	体育振興費	16,323	25,052	体育協会・スポーツ少年団及び総合型地域スポーツクラブの育成を図るとともに地域スポーツの振興に努めました。(決算額減の理由:平成24年度はインターハイ(アーチェリー競技)を燕市で開催したことによるものです。)
	210	生涯スポーツ振興費	11,250	10,872	各種スポーツ教室、スポーツ大会などを開催し、健康づくり並びに競技力の向上に努めました。
	210	スワローズカップ派遣事業	1,091	—	ヤクルト球団に関する自治体間において、野球を通じた交流を図り、小学生のスポーツ振興と青少年の健全育成を目的に、第1回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会に燕市代表チームを愛媛県松山市に派遣いたしました。
	212	燕体育センター管理運営費	18,829	20,234	燕地区のスポーツの拠点となっている体育館・武道館・研修館の整備・維持管理を行いました。
	212	燕体育センター管理運営費 [明許繰越]	171,034	—	市民の安全を確保するため、体育施設の拠点かつ災害時の避難施設である燕市民体育館の耐震補強工事を実施しました。
	212	スポーツランド燕管理運営費	21,405	18,558	体育館、野球場、多目的競技場(ソフトボール場)、屋内練習場の整備・維持管理を行いました。
214	スポーツパーク管理運営費	7,272	6,215	ナイター施設を完備した砂入り人工芝のテニスコート9面の維持管理を行いました。	
214	小中川ソフトボール場管理運営費	3,518	4,726	ナイター施設を完備した小中川ソフトボール場(ソフトボール場1面)の維持管理を行いました。	

(次ページへ続く)

教育委員会 社会教育課

(続き)

(単位:千円)

款	決算書 ページ	主要事業名	決算額	H24決算額	事業の概要
教育費	214	市民プール管理運営費	1,867	1,997	市民プール(屋外プール50m×7コース・補助プール)の維持管理を行いました。
	214	つばくろ運動広場管理運営費	1,345	2,691	つばくろ運動広場(野球場1面・ソフトボール場1面)の維持管理を行いました。
	214	燕勤労者体育センター管理運営費	6,806	5,496	燕市勤労者体育センター(バレーボール2面、バスケットボール1面、バドミントン4面)の維持管理を行いました。
	216	吉田総合体育館管理運営費	101,901	125,308	吉田総合体育館の耐震改修工事設計業務委託(9,832千円)を実施するなど、吉田総合体育館及びビジョンよしだの施設の整備・維持管理を行いました。
	216	吉田地区屋内体育施設管理運営費	3,454	3,482	吉田屋内ゲートボール場に防矢ネットを整備するなど、吉田地区屋内ゲートボール場3施設の維持管理を行いました。
	216	吉田地区屋外体育施設管理運営費	26,171	15,782	吉田市民プール槽内の塗装改修工事を実施(11,697千円)、その他、野球場、テニスコート等の維持管理を行いました。
	218	吉田武道館管理運営費	2,681	1,408	吉田武道館の耐震改修工事設計業務委託(1,207千円)の実施など、吉田武道館の維持管理を行いました。
	218	三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費	12,636	12,149	野球場4面、テニスコート9面、陸上競技場を三条市と共同で運営しました。
	218	分水総合体育館管理運営費	18,202	15,406	分水地区のスポーツの拠点となっている体育館・武道館・体操場・地域交流センターの維持管理を行いました。
	218	分水地区屋外体育施設管理運営費	8,786	8,006	分水プールの観覧席改修工事(5,836千円)を実施しました。その他、砂入り人工芝のテニスコート4面の維持管理を行いました。
	220	国上勤労者体育センター管理運営費	4,706	4,687	国上勤労者体育センター(バレーボール1面、バスケットボール1面、バドミントン3面)の維持管理を行いました。
	220	サンスポーツランド管理運営費	8,448	8,718	ナイター施設を完備したサンスポーツランド(野球場1面・多目的屋内運動場・多目的広場)の維持管理を行いました。
	220	四箇村ふれあい館管理運営費	4,768	5,357	四箇村ふれあい館(バレーボール1面、バスケットボール1面、バドミントン2面)の維持管理を行いました。
	220	開放施設管理費	11,804	7,686	燕西小学校・ナイター施設変電設備の改修工事(5,460千円)を実施いたしました。また、小・中学校の体育館及びグラウンドを開放しました。
222	施設管理運営費	25,048	23,821	B&G海洋センター(室内25mプール・幼児用プール)の運営、施設の保守点検業務等の業務委託及び維持修繕管工事等を行いました。	

主な普通建設事業

- * 合併特例債事業は、合併特例債を活用した全事業を、また、通常事業は事業費が 20,000 千円以上の事業を掲載しました。
- * 補助対象または起債対象となる事務費等を含めて計上している事業もあるため、主要事業の決算額と異なる場合があります。

普通建設事業費(一般会計)

1 合併特例債事業

款	決算書 ページ	事業名	事業費	財源		
				国庫支出金	県支出金	地
						合併特例債
総務費	60	新庁舎建設事業	248,382		170,000	73,900
	60	新庁舎建設事業[通次繰越]	122,232			115,900
	62	旧吉田庁舎整備事業	12,780			10,700
	62	旧燕庁舎整備事業	17,278			15,200
民生費	98	保育園整備事業((仮称)燕西こども園整備事業)	7,617			7,200
	98	(仮称)吉田統合保育園建設事業	652,250		6,240	597,000
	98	吉田西太田保育園増改築事業	17,671			13,900
	102	(仮称)分水小学校児童クラブ建設事業	96,815		14,336	70,500
農林水産業費	132	県営土地改良事業(県営かんがい排水)	8,840			8,300
	132	県営土地改良事業(県営かんがい排水)[明許繰越]	10,504			10,500
	132	県営土地改良事業(経営体育成基盤整備)	70,743			59,500
	132	県営土地改良事業(経営体育成基盤整備)[明許繰越]	23,447			18,200
	136	村づくり交付金事業	21,172		12,350	6,300
	136	村づくり交付金事業[明許繰越]	120,000		78,000	2,500

(単位:千円)

内		訳		概 要
方 債		そ の 他	一 般 財 源	
県地域づくり資金	通常債			
3,800			682	平成23年度からの3か年工事の最終年として、平成25年5月の移転開庁に向けて外構工事及びネットワーク工事を行い、建設工事を完了しました。また、オフィス環境整備業務で、備品の調達や移転業務を実施しました。
		6,332		平成24年度に発注した新庁舎建設工事の中で、年度内に完成できなかった外構工事の一部を通次繰越により実施しました。
500	700		880	市庁舎移転後の旧吉田庁舎について、新たな利活用を図るため、耐震補強・改修工事に向けた設計業務委託を行いました。
800			1,278	市庁舎移転後の旧燕庁舎について、新たな利活用を図るため、新館の耐震補強・改修工事及び本館の解体工事に向けた設計業務委託を行いました。
300			117	平成27年度に(仮称)燕西こども園の増築・改修工事を燕保育園で実施するにあたり、一部用地を先行取得し、付帯施設の解体及び駐車場整備工事を行いました。
31,400		17,610		燕市立吉田中央保育園及び吉田神田保育園を統合して、吉田小学校前の敷地に認可保育園を建設しました。(延床面積:2231.98㎡)
700		3,071		平成26年度に燕市立吉田西太田保育園の増築・改修工事を実施するにあたり、平成25年度は設計業務委託及び地質調査業務委託を行いました。
3,600			8,379	分水のなかまの会からわか竹児童クラブに移行するため、分水小学校敷地内に新たに放課後児童クラブ棟を建設しました。(延床面積:313.66㎡)
400			140	農地の排水対策や汎用化を推進するために行う県営かんがい排水事業に対し負担金を支出しました。
		4		平成24年度に国の緊急経済対策が実施され、県営かんがい排水事業費が増額となり、繰越した分に係る負担金を支出しました。
3,100			8,143	経営規模の拡大と大型機械導入による生産効率の向上、経営基盤の強化に繋がる農地の利用集積を推進するために行う県営経営体育成基盤整備(ほ場整備)事業に対し負担金を支出しました。
		5,247		平成24年度に国の緊急経済対策が実施され、県営経営体育成基盤整備(ほ場整備)事業費が増額となり、繰越した分に係る負担金を支出しました。
300			2,222	農業用施設の維持管理の軽減と農業生産性の向上を図り、持続的な農業経営の確立、優良農地の確保、農産物の良好な生産条件を整備するため、国及び県の補助金の交付を受けて農業集落道(国上連絡道、国上集落道)の用地買収を行い、国上連絡道の第2次工事に着手しました。
		39,500		農業用施設の維持管理の軽減と農業生産性の向上を図り、持続的な農業経営の確立、優良農地の確保、農産物の良好な生産条件を整備するため、国及び県の補助金の交付を受けて農業集落排水施設(深通排水路、太田前排水路、御見分排水路)及び農業集落道(国上連絡道)の整備を行いました。

(次ページへ続く)

1 合併特例債事業

款	決算書 ページ	事業名	事業費	財源		
				国庫支出金	県支出金	地
						合併特例債
土木費	154	幹線道路環境整備事業	49,818			46,900
	154	市街地生活環境整備事業(吉田地区)	19,822			18,400
	158	吉田95号線道路整備事業	60,989	4,179		53,900
	158	吉田95号線道路整備事業[明許繰越]	20,710	19,800		500
	166	須頃郷排水対策事業	216,323	133,755		77,700
	166	大河津分水さくら公園バリアフリー化整備事業	33,996	16,998		16,100
消 防 費	170	防災行政無線保守管理事業 (防災行政無線設備移設改修)	47,460			45,000
教 育 費	196	吉田公民館耐震改修事業	9,969			8,100
	207	文化会館改修事業	6,720			5,400
	208	東部学校給食センター建設事業	88,164			82,000
	210	西部学校給食センター改築事業[通次繰越]	626,300	37,300		581,100
	212	燕体育センター耐震改修事業[明許繰越]	171,034	25,000		145,900
	216	吉田総合体育館耐震改修事業	9,832			8,500
計			2,790,868	237,032	280,926	2,099,100

(単位:千円)

内		訳		概	要
方		そ の 他	一 般 財 源		
債	債				
県地域づくり資金	通常債				
2,400			518	本事業に該当する道路については、各地区を結ぶ重要な幹線道路であり、交通量も多く傷みやすいため、年次的に舗装の補修を行っています。平成25年度はL=2.4km舗装修繕を実施し、安全で快適な交通網の確保を図りました。	
900			522	老朽化により排水機能が低下していた吉田地区市街地8箇所において、整備工事L=0.6kmを実施し排水機能を高めるとともに周辺の生活排水環境を改善しました。	
2,800			110	吉田駅前市街地と吉田北地区を結び、安全性・利便性等の向上を目的とした基幹道路として整備を行うため、平成25年度は、道路改良L=117mと公有財産購入及び物件移転を予定しているため、物件調査算定業務委託1軒を実施しました。	
		410		代替地選定のため、平成24年度内に除却が完了できなかったため、地権者1名について、物件移転及び用地買収を明許繰越により実施しました。	
4,000			868	近年頻発している豪雨による須頃郷地区の内水対策の強化を推進するため、道路地下への調整池設置工事2箇所に着手し、調整池設置及び幹線排水路改修の設計等に関する業務委託を6件、地質調査を1本実施しました。(事業期間:平成24年度～平成28年度)	
800			98	公園利用者(高齢者・身障者等)の安全性・利便性の向上を図るため、大河津分水さくら公園の園路のバリアフリー化の整備を実施しました。	
2,300			160	新庁舎移転に伴う防災行政無線の移設工事を行いました。	
400			1,469	安全・安心な市民の生涯学習活動の拠点として、また、災害時には避難施設として市民の安全を確保するため、施設の耐震補強改修工事に係る基本・実施設計業務委託を実施しました。	
200			1,120	築32年が経過し、経年劣化が著しい舞台関係設備を改修・更新し、安全でより高い舞台芸術を提供するための改修工事に係る、基本・実施設計業務委託を実施しました。	
4,300			1,864	東部学校給食センター建設にあたり、平成25年度は給食センター用地の測量、開発申請業務委託及び用地買収を行いました。	
		7,900		西部学校給食センター改築工事(I期)工事費及び関連事業を行いました。	
		134		市民の安全を確保するため、体育施設の拠点かつ災害時の避難施設である燕市民体育館の耐震補強工事を実施しました。	
400			932	吉田総合体育館の耐震改修工事設計業務委託を実施しました。	
63,400	700	80,208	29,502		

2 合併特例債事業（燕・弥彦総合事務組合負担金）

款	決算書 ページ	事業名	事業費	財源		
				国庫支出金	県支出金	地
						合併特例債
衛生費	120	斎場建設事業費負担金	581,218			552,100
計			581,218			552,100

合併特例債事業合計

事業費	財源		
	国庫支出金	県支出金	地
			合併特例債
3,372,086	237,032	280,926	2,651,200

3 通常事業（事業費20,000千円以上を掲載）

款	決算書 ページ	事業名	事業費	財	
				国庫支出金	県支出金
民生費	90	介護基盤緊急整備臨時特例補助金[明 許線越]	116,000		116,000
	98	私立認可保育園整備補助金	68,000		
衛生費	120	燕霊園墓地整備拡張工事	50,845		
農林水産業費	132	国営土地改良事業	53,809		
土木費	154	道路維持工事費	112,737		6,200
	154	道路改良事業	141,333	56,990	

(単位:千円)

内		訳		概 要
方 債		そ の 他	一 般 財 源	
県地域づくり資金	通常債			
29,000			118	老朽化した施設(昭和47年竣工)を解体し、隣接地に新たな斎場を建設するため、平成23年度に基本構想の作成と地質調査を行い、平成24年度に実施設計及び建設工事に着手し、平成25年度から本格的な本体建設工事に着手(平成26年度継続)しました。 【施設概要】鉄筋コンクリート造一部2階建、火葬炉6基、平成26年8月16日供用開始
29,000			118	

(単位:千円)

内		訳	
方 債		そ の 他	一 般 財 源
県地域づくり資金	通常債		
92,400	700	80,208	29,620

(単位:千円)

源	内		訳	概 要
地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
				県の補助金を活用し、地域密着型介護老人福祉施設(分水いちごの実)の建設事業に対し、補助金を支出しました。
18,100			49,900	ぎんなん保育園の園舎改築工事にあたり、平成25年度における出来高77%に対する補助金を、1月と3月の2回に分けて交付しました。
		50,845		平成24年度末の市営墓地1,778区画は全て完売しており、キャンセル待ちをしている80人を超える市民から墓地を求めたいとの強い要望を受け、又新地内の燕霊園の南側隣地に1,841㎡の用地を取得し、4㎡(2m×2m)を240区画(うち1区画は無縁墓)造成し、平成26年2月に抽選会を行い、市民の利用に供しました。
		54	53,755	昭和55年度から平成15年度にかけて実施された国営西蒲原排水事業(排水機場8施設、排水路15路線及び水管理システム一式を整備)に係る償還金を支出しました。
			106,537	舗装修繕等108件、防護柵0.5km、カーブミラー41箇所、防犯灯123灯等の整備を行い、安全で安心して通行できる道路環境の確保を図りました。
39,100			45,243	各自治会からの要望のあった生活道路等の改善について、効率的かつ効果のある箇所及び継続工事を優先しながら、測量設計委託13箇所、道路改良工事を66箇所L=2.8km及び舗装工事を33箇所A=8,988㎡実施しました。

(次ページへ続く)

3 通常事業(事業費20,000千円以上を掲載)

款	決算書 ページ	事業名	事業費	財	
				国庫支出金	県支出金
土 木 費	156	消雪施設整備事業	141,589	45,000	
	156	下水路整備事業	146,937	87,812	
	158	道金9号線歩道整備事業	30,542	13,750	
	158	吉田東栄町5号線歩道整備事業	40,413	39,978	
	158	柳山幹線他雪寒事業	29,268	16,800	
	158	弥生町文京町線雪寒事業	28,955	16,200	
	158	橋梁修繕事業	64,620	34,265	
	162	住宅リフォーム助成事業助成金	28,138	13,477	
	162	定住促進・まちなか支援事業	22,100		
	162	都市公園管理費(公園施設長寿命化 計画委託料、工事請負費)	21,770	724	
	166	須頃郷公園整備事業	23,983	9,920	

(単位:千円)

源		内 訳		概 要
地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
24,700			71,889	経年により能力の低下した井戸の改修等を11件、散水管の改修等938mを行いました。また、自治会による消雪施設工事費の50%補助を11件実施し、整備促進を図りました。
34,400			24,725	各自治会から要望のあった下水路整備について、効率的かつ効果のある箇所及び継続工事を優先しながら、測量設計委託22箇所、下水路整備工事を55箇所L=3.4kmを実施しました。
10,100			6,692	本路線は、小池中学校に接続する道路で同中学校の通学路として利用されており、また、道路幅員も狭く歩道も無いことから、新たに歩道を整備し通学生徒の安全確保を図るため、歩道整備をL=279m実施しました。
			435	吉田南小学校跡地内各施設へのアクセス道路として、また、周辺道路とのネットワーク化を図る歩道整備工事をL=30m実施しました。また、平成26年度に公有財産購入及び物件移転を予定しているため、物件調査算定業務委託1軒を実施しました。
10,000			2,468	冬期間における歩行者の安全と円滑な交通を確保し、雪に強い地域づくりを進めるため、柳山地内に消雪施設の井戸1本、散水管712mを新設しました。
9,700			3,055	冬期間における歩行者の安全と円滑な交通を確保し、雪に強い地域づくりを進めるため、分水弥生町・分水文京町内に消雪施設の井戸1本、散水管635mを新設しました。
25,200			5,155	吉田駅人道橋は越後線と弥彦線を跨ぎ吉田駅を利用者する人達に重要な橋であるが、部材の塗装劣化・高欄の腐食等により列車や歩行者に被害が及ぶ恐れがあるため修繕しました。
			14,661	市内の建築関連業者に工事受注機会を増加させるために、市内登録業者が施工する住宅リフォーム工事を実施した者に助成金(工事費の10%・上限10万円)を392件交付しました。
			22,100	つばめのまちなかに住む子育て世代を支援するために住宅取得費の一部を補助しました。平成25年度は37世帯(126人)に交付し、うち市外からの転入は21世帯71人でした。
			21,046	委託費として、平成23年度に6箇所の都市公園について、公園施設長寿命化計画を策定しましたが、計画策定時に建設中であった「大河津分水さくら公園」についても当該計画に追加しました。 工事費として、公園施設の老朽化に伴う遊具の再設置工事や藤棚、フェンス、外灯の再設置工事を実施し、また、燕市交通公園サイクルモノレールの軌条(レール)及びプラットフォームの補修工事を実施しました。
12,600			1,463	新幹線燕三条駅、北陸自動車道三条燕インターチェンジ周辺の地域住民及び商業施設利用者に憩いの場を提供し、インター付近の駐車場対策を兼ねた、多目的広場として公園整備を実施しました。

(次ページへ続く)

3 通常事業(事業費20,000千円以上を掲載)

款	決算書 ページ	事業名	事業費	財	
				国庫支出金	県支出金
土木費	166	(仮称)東町公園整備事業	68,071	35,125	
消防費	170	分水消防署改築事業	125,716		
教育費	184	小学校整備事業	72,327		
	184	小中川小学校大規模改造事業[明許繰越]	231,637	75,293	
	188	吉田中学校大規模改造事業[明許繰越]	475,098	102,985	
計			2,093,888	548,319	122,200

(単位:千円)

源		内 訳		概 要
地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
29,600			3,346	中越衛生処理場の跡地利用して、地域住民の憩いの場と防災機能を備えた公園とし、平成25年度は基礎的な部分として、盛土・駐車場整備・園路整備・フェンス等の整備及び管理棟建設設計業務委託を実施しました。 (事業期間:平成24年度～平成26年度)
119,800			5,916	旧分水庁舎を解体し、新分水消防署の建設工事のうち、1階床コンクリート部分までの工事を行いました。また、同工事に伴う監理業務の委託を行いました。
			72,327	小池小学校の煙突ストーブ改修、島上小学校のグラウンド改修工事などを行いました。
136,400	19,944			小中川小学校大規模改造(Ⅱ期)工事を行いました。
298,900	73,213			吉田中学校屋内運動場大規模改造工事を行いました。
768,600	144,056		510,713	

主な指標の説明

●基準財政収入額

普通交付税の算定に用いるもので、地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態で見込まれる税収入を一定の方法で算定したものである。(収入実績でなく、客観的なあるべき一般財源収入額としての性格を有する。)

●基準財政需要額

普通交付税の算定に用いるもので、地方公共団体が合理的、かつ、妥当な水準で行政を行うための財政需要のうち、一般財源で賄うべき額を一定の方法で算定したものである。

●標準税収入額等

基準財政収入額から地方譲与税及び交通安全対策特別交付金を除いた額を基準税率(75%)で除いた額をいう。

●標準財政規模

地方自治体の一般財源の標準的大きさを示す指標で、基本的な財政指標や財政健全化指標の分母となる重要な数値である。言い換えれば、標準的に収入しうる「経常一般財源」の大きさである。

●実質収支比率

実質収支の額の適否を判断する指標であり、標準財政規模に対する実質収支額の割合で示される。実質収支が黒字の場合は正の数、赤字の場合は負の数で表される。経験的には3%~5%程度が望ましいといえる。

●経常収支比率

地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合。財政の弾力性を示す指標として、従来自治省(総務省)の指導としては、道府県で80%、市町村で75%を上回らないことが望ましいとされていた。

●経常一般財源比率

経常的収入の中の一般財源(経常一般財源)と、その標準財政規模に対する比率。

●公債費比率

公債費比率は、財政構造の弾力性を判断する指標であり、公債費に充てられる一般財源の額の標準財政規模に占める割合を表す比率である。この比率が10%を超さないことが望ましいとされる。

●公債費負担比率

公債費負担比率は、財政構造の弾力性を判断する指標であり、公債費に充当された一般財源の一般財源総額に占める割合を表す比率である。率が高いほど、財政運営の硬直性の高まりを示す。公債費には、繰上償還や一時借入金利子に係るものも含まれる。

●起債制限比率

地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費(普通交付税が措置されるものを除く)に充当されたものの占める割合の過去3年間の平均値。

●財政力指数

地方自治体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。市町村が、標準的な行政を行う場合に必要な経費に対し、どの程度、税収入等で賄えるかを示したもので、この指数が高いほど、財源に余裕があると言える。なお、税収等が豊かで普通交付税の交付を受けない「不交付団体」は、この指数が1を超えることとなる。